

令和 7 年度 法人本部拠点区分事業報告書

1 大東福祉会の経営状況について

今年度の大東福祉会の経営状況には、次のとおりである。

(1) 経常増減差額【一般企業の経常利益に相当する】

法人全体で今期 6,486 万円となり 2 年連続で増益となった。

(主要因)

- ① 老人福祉部においては、利用率の向上のため、目標値以外に職員自らが設定値を定め、改善努力を行うと共に、経費削減の工夫を行った事によるものである。
- ② 子育て支援部では出生率低下に伴う入園児の減少は続いているが、処遇改善及び公定価格等加算率が高くなったものである。法人全体としては、収益に伴う部門ごとに人件費の措置等を講じた結果となった。

(2) 事業活動資金収支差額

- ① 老人福祉部（大東苑、くにやす苑、小笠老人ホーム）では、前期比 129.4% 増で 4,300 万円程の黒字となった。利用者増や経費の減等によるものが主な要因である。
- ② 子育て支援部（きとうこども園、おおさかこども園、ちはまこども園）については、前期比 34.3% 減の 7,600 万円程の黒字となった。公定価格の改正等による教育・保育給付費単価の上昇により、入園児減少による収入減を補う結果となった。

(3) 中長期経営計画と積立資産目標

- ① 子育て支援部では、3,900 万円の積み立てることができた。（計画 5,100 万円）
- ② 老人福祉部では、積立なしとなった。（計画 4,950 万円）

今後、より一層の利用率の向上を図り、安定した経営を目指していく。

(4) 事業活動収入

- ① 介護保険事業収入が前期比 0.1% 増の 10 億 3,500 万円、老人福祉事業収入は前期比 3.5% 増の 1 億 1,300 万円となった。
- ② 保育事業収入は前期比 1.4% 増の 6 億 5,400 万円となり、全体の事業活動収入は前期比 1.7% 増の 18 億 2,400 万円となった。

(5) 事業活動支出

- ① 全体で前期比 3.7% 増の 17 億 700 万円、内訳は人件費が 13 億 1,600 万円と支出の大半を占めており、法人全体の事業活動人件費比率は 73.0% となり、前期より 2.8 ポイント上がっている。これは公定価格や処遇改善等による人件費増が主な要因である。

＝総評＝

サービスの質の向上を図りながら、地域の方や近隣周辺の方々にもより多く利用して頂くことで、持続可能な法人経営とすることが、地域貢献に繋がる。

2 事業毎の総括について

本年度は、コロナ感染対策を意識しつつ、それぞれの施設での行事等を通常活動に近い施設運営を行った。今後も施設での感染対応を適切に実施し、利用者や地域住民から信頼される施設として福祉サービスの提供に努める。

(1) 子育て支援事業

- ① 出生率の低下により園児数が減少しているが、利用率については、きとうこども園（R6 75.4% R7 74.1%）、おおさかこども園（R6 73.6% R7 63.3%）、ちはまこども園（R6 90.6% R7 91.0%）となった。
- ② 認定こども園事業については、当法人の 3 園がともに安心・安全に園生活が送れるよう環境整備に細

心の注意を払いながら、教育・保育を行った。

(2) 老人福祉事業

- ① くにやす苑の移転建て替えについて、掛川市の公共施設再配置計画を考慮しつつ、複数の候補地について市と協議した。市から資金計画を含めた移転計画の具体的な素案の提示を求められたため、次年度には法人内部協議を行い、市に提示していく予定である。
- ② 法人が指定管理を受けている小笠老人ホーム「小笠の郷」の指定管理（R 6. 4～R11. 3）を行っている。安定経営を図るために、従来どおり地域包括支援センターに働きかけ、入所対象者の掘り起こしの要望を行っていく予定である。また、ききょう荘の閉所が決定したため、段階的に9人程を令和8年度に逐次移行入所していく予定である。
- ③ 老人福祉事業における各サービスの年間平均利用率等と目標利用率等を示す。

大東居宅	年間平均作成件数 267 件（目標 285）	大東ヘルパー	年間平均利用時間 351 時間（目標 455）
大東デイ	月間平均利用者数 41. 8 人（目標 43 人）	大東ショート	年間平均利用者数 10. 1 人（目標 11 人）
大東苑	年間平均利用率 96. 4%（目標 98%）		
くにやすデイ	月間平均利用者数 22. 9 人（目標 24 人）		
くにやすショート	月間平均利用者数 10. 4 人（目標 13. 6 人）		
くにやす苑	年間平均利用率 96. 7%（目標 98%）	小笠老人ホーム	年間平均利用率 82. 2%（目標 94%）

(3) 防災事業（共通）

7月30日にロシア・カムチャツカ半島地震に伴う津波警報発令時の対応について、午前9時40分の津波警報発令後、避難計画に基づき避難活動を迅速に実施することができた。

＝概要＝

① 避難人員及び対応職員数・避難開始と終了 【津波到達予想時刻 午前11：30】

施設名	避難人員	対応役員	対応職員	その他	計	避難開始	避難先	移送完了	避難終了
くにやす苑	76人		27人	3人	106人	9：40	大東苑	11：45	31日 11：00
大東苑			35人		35人				
おおさかこども園	130人		36人		166人	9：40	大坂小3階	9：57	14：50
ちはまこども園	68人		26人	4人	98人	10：10	千浜小3階	10：30	12：17
本部		1人	3人		4人				
計	274人	1人	139人	7人	413人				

② 反省・課題点

8月25日 施設長会議にて各拠点の職員から出された反省課題等を一元化し共有（226項目）

全項目を6分類に区分し、各拠点、各部等の段階で検討改善を行うこととした。

9月12日 災害関連共通の手引きを作成し、全職員に周知した。

10月22日 災害関連連絡網（中部電力 ビジエネ連絡網）を周知し登録した。

＊くにやす苑については、避難行動マニュアル及び避難訓練の見直しを継続的に行っている。

＝総評＝

大東福祉会の基本理念及び経営理念を大切に、各拠点における理念に対する取組みを職員自らが考え、実践を開始した。今後は、法人格を超えた社会的企業として、収益力の向上を図ると共に、地域住民を「元気」にする「公益的取組」である地域共生社会を展望していく。このため、社会福祉の専門職として優秀な人材の確保と職員の育成及び組織の活性化を図ることで、地域ニーズが的確に反映された質の高い福祉サービスを安定的に提供していく。

3 理事会の開催について（理事の定員：6/24 評議員会終了まで6名、終了後から7名・監事の定員2名）

令和7年6月5日（木）（出席理事数6名、出席監事数2名）

- 1) 議案第 1 号 令和6年度社会福祉法人大東福祉会事業報告について
- 2) 議案第 2 号 令和6年度社会福祉法人大東福祉会決算認定について
- 3) 議案第 3 号 社会福祉法人大東福祉会評議員候補者の推薦について
- 4) 議案第 4 号 社会福祉法人大東福祉会評議員選任・解任委員会の開催について
- 5) 議案第 5 号 社会福祉法人大東福祉会理事候補者の推薦について
- 6) 議案第 6 号 社会福祉法人大東福祉会監事候補者の推薦について
- 7) 議案第 7 号 社会福祉法人大東福祉会評議員会の開催について

令和7年6月24日（火）（出席理事数7名、出席監事数2名）

- 1) 議案第 8 号 社会福祉法人大東福祉会理事長の選定について
- 2) 議案第 9 号 社会福祉法人大東福祉会評議員選任・解任委員会の選任について

令和7年9月26日（金）（出席理事数7名、出席監事数2名）

- 1) 議案第10号 社会福祉法人大東福祉会給与規程の一部改正について
- 2) 議案第11号 社会福祉法人大東福祉会非常勤職員給与規程の一部改正について
- 3) 議案第12号 社会福祉法人大東福祉会大東ショートステイサービス運営規程の一部改正について
- 4) 議案第13号 社会福祉法人大東福祉会大東デイサービスセンター運営規程の一部改正について
- 5) 議案第14号 社会福祉法人大東福祉会大東デイサービスセンター介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業（通所介護相当サービス）運営規程の一部改正について
- 6) 議案第15号 社会福祉法人大東福祉会大東デイサービスセンター掛川市介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業（通所型サービスA）運営規程の一部改正について
- 7) 議案第16号 社会福祉法人大東福祉会くにやすショートステイサービス運営規程の一部改正について
- 8) 議案第17号 社会福祉法人大東福祉会くにやすデイサービスセンター運営規程の一部改正について
- 9) 議案第18号 社会福祉法人大東福祉会くにやすデイサービスセンター介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業（通所介護相当サービス）運営規程の一部改正について
- 10) 議案第19号 社会福祉法人大東福祉会くにやすデイサービスセンター掛川市介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業（通所型サービスA）運営規程の一部改正について
- 11) 議案第20号 社会福祉法人大東福祉会 大東デイサービスセンターなかよし運営規程（地域密着型認知症対応型通所介護）の廃止について

令和7年11月18日（火）（出席理事数6名、出席監事数2名）

- 1) 議案第21号 令和7年度くにやす苑拠点区分積立金の取り崩しについて
- 2) 議案第22号 令和7年度社会福祉法人大東福祉会 収入支出補正予算について
- 3) 議案第23号 社会福祉法人大東福祉会評議員会の開催について

令和8年1月8日（木）（出席理事数5名、出席監事数2名）

- 1) 議案第 24 号 令和7年度特別養護老人ホームくにやす苑機械浴槽（寝位入浴装置）物品購入業者選定について

令和8年1月23日（金）（出席理事数6名、出席監事数2名）

- 1) 議案第 25 号 令和7年度特別養護老人ホームくにやす苑機械浴槽（寝位入浴装置）物品購入業者選定に伴う入札結果について
- 2) 議案第 26 号 令和7年度特別養護老人ホームくにやす苑機械浴槽（寝位入浴装置）物品購入契約について

令和8年3月12日（木）（出席理事数7名、出席監事数2名）

- 1) 議案第 27 号 社会福祉法人大東福祉会就業規則の一部改正について

- 2) 議案第 28 号 社会福祉法人大東福祉会非常勤職員就業規則の一部改正について
- 3) 議案第 29 号 社会福祉法人大東福祉会職員給与規程の一部改正について
- 4) 議案第 30 号 社会福祉法人大東福祉会非常勤職員給与規程の一部改正について
- 5) 議案第 31 号 社会福祉法人大東福祉会経理規程の一部改正について
- 6) 議案第 32 号 社会福祉法人大東福祉会特別養護老人ホーム大東苑給食業務委託契約について
- 7) 議案第 33 号 社会福祉法人大東福祉会特別養護老人ホームくにやす苑給食業務委託契約について
- 8) 議案第 34 号 社会福祉法人大東福祉会養護老人ホーム小笠老人ホーム給食業務委託契約について
- 9) 議案第 35 号 令和 8 年度役員等賠償保険加入について
- 10) 議案第 36 号 令和 7 年度社会福祉法人大東福祉会収入支出補正予算について
- 11) 議案第 37 号 令和 7 年度子育て支援部積立金の積み立てについて
- 12) 議案第 38 号 令和 8 年度くにやす苑拠点区分積立金の取り崩しについて
- 13) 議案第 39 号 令和 8 年度社会福祉法人大東福祉会事業計画について
- 14) 議案第 40 号 令和 8 年度社会福祉法人大東福祉会収入支出予算について
- 15) 議案第 41 号 社会福祉法人大東福祉会評議員会の開催について

4 評議員会の開催について (評議員の定員：6/24 評議員会終了後まで 7 名、終了後から 8 名)

令和 7 年 6 月 24 日 (火) (出席評議員数 7 名、出席理事数 2 名、出席監事数 2 名)

- 1) 議案第 1 号 令和 6 年度社会福祉法人大東福祉会 事業報告について
- 2) 議案第 2 号 令和 6 年度社会福祉法人大東福祉会 決算認定について
- 3) 議案第 3 号 社会福祉法人大東福祉会理事の選任について
- 4) 議案第 4 号 社会福祉法人大東福祉会監事の選任について

令和 7 年 11 月 28 日 (金) (出席評議員数 7 名、出席理事数 3 名、出席監事数 2 名)

- 1) 議案第 5 号 令和 7 年度 社会福祉法人大東福祉会収入支出補正予算について

令和 8 年 3 月 23 日 (月) (出席評議員数 6 名、出席理事数 3 名、出席監事数 2 名)

- 1) 議案第 6 号 令和 7 年度社会福祉法人大東福祉会収入支出補正予算について
- 2) 議案第 7 号 令和 8 年度社会福祉法人大東福祉会事業計画について
- 3) 議案第 8 号 令和 8 年度社会福祉法人大東福祉会収入支出予算について

5 評議員会選任・解任委員会の開催について (委員 5 名)

令和 7 年 6 月 13 日 (金) (出席委員数 5 名、出席理事数 1 名)

- 1) 議案第 1 号 社会福祉法人大東福祉会評議員の選任について

6 監事監査の実施について

1) 開催日時・場所

内 容	開 催 日 時	場 所
決算監査	令和 7 年 5 月 21 日 (水) 午前 9 時 00 分～午後 5 時 00 分	きとうこども園、おおさかこども園・ちはまこども園・小笠老人ホーム
決算監査	令和 7 年 5 月 27 日 (火) 午前 9 時 00 分～午後 5 時 45 分	くにやす苑・大東苑・本部
定期監査	令和 7 年 10 月 29 日 (水) 午前 9 時 00 分～午後 3 時 30 分	小笠老人ホーム・おおさかこども園・ちはまこども園・きとうこども園
定期監査	令和 5 年 10 月 31 日 (金) 午前 9 時 00 分～午後 3 時 00 分	くにやす苑・大東苑・本部

7 令和7年度社会福祉施設等の指導監査の実地について

1) 静岡県指導監査 開催日時等

実施施設	開催日時	静岡県担当課
きとうこども園	令和7年11月26日(火) 午前10時00分～午後4時40分	福祉指導課
おおさかこども園	令和7年12月9日(火) 午前9時00分～午後3時25分	福祉指導課
ちはまこども園	令和7年12月10日(水) 午前9時30分～午後3時10分	福祉指導課

2) 結果

実施施設	改善指導事項	是正・改善の具体的方策
きとうこども園	改善指導事項なし	—
おおさかこども園	改善指導事項なし	—
ちはまこども園	改善指導事項なし	—

8 苦情解決結果について

大東苑

■ 令和7年6月18日

申出人 通訳

内 容 次の苦情が、通訳の方を通じてご家族からあった。

- ・ 6月中旬の夕方、入居者の内出血の連絡を受けたが、以前からケガが多くご家族が非常に心配している。
- ・ 事故対策について尋ねた際、「立場的にお伝えできない」「自宅での生活状況を知りたい」などと言われ、職員の口調や対応に不快感を覚えた。もっと寄り添った対応を望む。

結 果 ・通訳の方から相談を受け、相談員から職員の電話対応で不快な思いをさせた事を陳謝した。

- ・ 事故対策については、事故発生やケガを発見した際には、記録・事故報告書の作成と事故対策も検討している事、毎月の事故対策委員会で対策の評価を行っている事を伝えた。
- ・ 主任職員から通訳の方へ電話対応で不快な思いをさせたことを陳謝した処、「わざわざお電話ありがとうございます。よろしくお願いします。」と通訳の方からお言葉をいただいた。
- ・ 主任、副主任で電話対応のマニュアルを新たに作成して職員全体に周知した。
- ・ 電話対応や声かけに対しても相手の気持ちに寄り添った対応と話し方や声色に注意するように職員周知を図った。

くにやす苑

■ 令和7年9月22日

申出人 ご家族

内 容 夕食介助に来苑したご家族から、職員に「現在の食事量は何割なのか。担当によって量が違う。容器もまちまちである。」との話があった。

ご家族から「本人の体重を増やしたいと思っているのに、食事量を増量してほしいと申し出た

が検討しているのか。また、提供量が5割との説明を受けたが、容器も毎回違うし、10割の全量を見せて欲しい。5割提供の根拠はあるのか。」との苦情が寄せられた。

結 果 5割提供の根拠・経緯については、入所者ご本人が満腹感の訴えを行える状況になく、寝たきりの状況であり、合わせて食事の提供量が多い時に頻繁に嘔吐の症状がみられたことから、嘱託医の指導により5割提供の対応としていた。

ご家族に10割の提供量を直接見ていただき、更に5割の量を確認していただき納得された。

その後、ご家族の申し出から再度、職員間で話し合い、対応を協議し次のとおりとした。

- ・ 食事は、スケールで必ず重さを測り、5割提供にしてお出しする事とした。
- ・ 5割提供について、少ないと感じればご家族が差し入れてくれるもので調整する事を許容することとし、ご家族からも了解された。
- ・ 副施設長からご家族との協議の結果、食事の量について改善されているとの発言がなされ現対応で了承された。

おおさかこども園

■ 令和7年6月9日（月）

申出人 保護者

内 容 保護者から次の苦情が寄せられた。

- ・ 最初に3月時点で預り保育についてこども園に相談があった。

その後、保護者から、6月から午後1時までの仕事が決まったため、長期間預りが新たに可能となった、『新2号認定』*注)申請が必要か園に確認したところ必要ないと言われ、以後、園からの連絡がなかった。再度確認すると長期利用はできないと言われた。

このため、改めて掛川市に確認した処、園と調整を諮り必要書類を共有し、長期利用申請について、園長から連絡するという掛川市担当の発言があったが、園から連絡がなかった。

- ・ 同一法人内の他園では同じ条件の園児を預かってもらっていることを知っていたため、対応の相違に不信感を感じた。

結 果 ・ 3月と6月という年度を跨ぐ保護者からの相談申し出であったため、この間に園長の人事異動も重なり、就労内容の詳細ヒヤリングに齟齬があったことを保護者に陳謝し、事前確認の徹底を行う旨保護者に本部から伝達した。

・ 保護者からの「他園」とは、ちはまこども園であるが、2号児の受入体制は、職員の配置状況も関係するため、対応内容に差異が生じる旨を説明し、不公平でない事を丁寧にお伝えし理解された。

*注)「新2号認定」とは、認定こども園の預かり保育を利用する場合、保育料の無償化を受けるために、「認定」を取得する必要がある、3～5歳児が対象となる新たに定められた制度。

1号枠（幼稚園（午後2時退園）として入園可能な園児を、長時間保育可能な、2号児（午後5時退園）と同様に預かれる制度あり、期間について次の2種類がある。

- ・ 長期利用：1年を通じて、平日の午後2時以降を利用可能
- ・ 短期利用：夏休み等限定的に利用可能

（取扱い期間については、保護者の就労内容や条件等、状況により可否が判断される。）

令和7年度 事業報告附属明細書 法人本部拠点区分

該当事項なし。

令和7年度 きとうこども園拠点区分事業報告書

1 令和7年度の総括

本年度は、園目標のもと子ども・保護者・地域・職員がそれぞれの立場で力を発揮し、園全体が活気に満ちた一年となった。

- (1) いろいろなことに興味を持ち自ら環境に関わり、主体性をもって取り組む姿を大切にする
募金活動や園での挑戦的な活動を通して、子どもたちが自ら考え、行動し、達成感を味わう姿が多く見られた。廃材を活用した環境づくりや、主体的に遊びを選べる環境整備も進み、子どもの興味に基づく活動が広がった。
- (2) 思いやり・コミュニケーション力・規範意識を培う
子ども同士が互いに助け合い、思いやりをもって関わる姿が増えた。募金活動や地域との交流を通して、人との関わりの中で社会性や規範意識の芽生えが育まれた。
- (3) 様々な体験により体を動かす楽しさ、意欲、頑張る力、豊かな感性を育てる
畑での野菜づくりや花壇の管理など自然に触れる体験を通して意欲や感性が育まれた。活動の中で「できた」という達成感を味わう機会が多く、体を動かす楽しさや挑戦する気持ちが育った。
- (4) 一貫した教育・保育に努め、一人一人の思いを大切に、自己肯定感を育む
職員研修の充実により、年齢に応じた一貫した教育・保育の質が向上した。職員が子どもの思いを丁寧に受け止め、認め合う関わりを大切にすることで、子どもたちの自己肯定感が育まれた。
- (5) 保護者への子育て支援を推進し、地域や学校との連携を深める
支援センターの利用者増加により、地域の子育て支援拠点としての役割が強化された。保護者との協力体制も深まり、園と家庭・地域が連携して子どもを育てる環境が整った。
- (6) 収入
市と連携し、1号児も含めた途中入園を積極的に受け入れた結果、園児190人を達成した。支援センターを週5日開設したことで利用者が約1.7倍に増加し、地域の子育て支援拠点としての役割がより明確となった。
- (7) 支出
水道光熱費の節約には職員全体が高い意識をもって取り組み、約12%の削減を実現した。保護者から提供いただいた廃材を活用し、職員が手作りで環境づくりを行ったことも経費削減に寄与した。扉の建付けなどの小さな修繕を行いながら、安全で快適な環境を維持した。
- (8) 人材確保
実習生3名の受け入れや中高生の職場体験を積極的に実施し、将来の人材確保に繋がる取り組みを進めた。育児短時間勤務等多様な働き方を取り入れ、働きやすい職場環境づくりに努めた。正規・非常勤を問わず外部研修に参加する機会を設け、職員の専門性向上を図った。
- (9) 環境維持管理
日々の点検やヒヤリハット報告を徹底し、安全な施設運営に努めた。花壇の維持管理や畑での野菜づくりでは保護者や地域の方との協力が広がり、地域とのつながりを深めることができた。支援を必要とする子どもを受け入れ、インクルーシブな環境づくりを進めたことで、子ども同士が互いに助け合い、思いやりの心を育む姿が多く見られた。

2 事業内容報告

1) 園児数月別報告 全体 (R7.4.1～R8.3.31) 定員250名 (1号45名、2号128名、3号77名)

歳 月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	1号	4歳児	1号	5歳児	1号	計	1号	定員割 合(%)
					2号		2号		2号		2.3号	
4	3	24	29	38	10	36	9	51	16	181	35	72.4
					28		27		35		146	
5	5	25	29	38	10	36	9	51	16	184	35	73.6
					28		27		35		149	
6	6	25	29	38	10	36	9	51	16	185	35	74
					28		27		35		150	

7	6	25	28	38	9	36	9	51	16	184	35	73.6
					29		27		35		149	
8	6	25	28	38	10	36	9	51	17	184	36	73.6
					28		27		34		148	
9	7	25	27	38	10	36	9	52	17	185	36	74
					28		27		35		149	
10	7	24	27	37	10	36	9	52	17	183	36	73.2
					27		27		35		147	
11	9	25	27	37	10	37	10	52	17	187	37	74.8
					27		27		35		150	
12	9	25	27	38	10	37	10	52	17	188	37	75.2
					28		27		35		151	
1	9	24	27	38	10	37	9	52	17	187	36	74.8
					28		28		35		151	
2	9	24	27	38	10	37	9	52	17	187	36	74.8
					28		28		35		151	
3	9	25	27	39	11	38	10	52	17	190	38	76
					28		28		35		152	

2) 学級編成

(3月31日現在 190人)

クラス	年 齢	男児	女児	計	外国人	要支援児	担任数
ちゅうりっぷ	0歳児	5	4	9	0	0	3
ひまわり	1歳児	5	5	10	1	0	2
たんぽぽ		8	7	15	1	0	3
さくら	2歳児	5	6	11	0	0	2
ばら		5	11	16	1	1	3
ばんだ	3歳児	7	7	14	0	0	1
うさぎ		7	5	12	0	1	1
こあら		7	6	13	0	0	1
ぞう	4歳児	8	11	19	1	2	1
くま		7	12	19	1	1	1
らいおん	5歳児	14	12	26	3	1	1
きりん		14	12	26	1	2	1
給食業務							7
担任外							12
支援センター							2
計		92	98	190	10	8	41

(正規職員 19人、非常勤職員 22人)

3) 年間主要行事

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4	始業式	11	施設防災訓練 (炊き出し訓練)
	入園式		サツマイモ掘り (5歳)
	保護者の会総会・クラス懇談		泥団子づくり (5歳)
5	城東学園引き渡し訓練		参観講演会 (5歳)
	こいのぼり会		参観講演会 (4歳)
	城東中学校城翼祭 (5歳)		花育教室 (5歳)
	親子バス遠足 (4.5歳)		視力検査 (4歳)
	参観会 (0.1.2歳)		発表会 (4.5歳)
	交通安全教室	12	土方小5年生との交流 (5歳)
6	プール開き		クリスマス会
	民生委員児童委員訪問		終業式

7	第一回評議員会	1	餅つき会
	七夕会		ことばの教室一斉検査（４歳）
	夏まつり		茶道体験（５歳児）
	プール自由参観（３．４．５歳）	2	豆まき会
	トウモロコシ狩り（５歳）		第二回評議員会
	個別面談（全園児）		発表会（２．３歳）
	終業式		光る泥団子づくり（５歳）
8	城東中交流（保育体験）		参観会（０．１．２歳）
	城東中交流（職場体験）		人権教室（５歳）
9	始業式	3	交通安全教室（５歳）
	プール納め		トトロの会（０．１．２歳）
	交通安全教室（３．４．５歳）		トトロの会（３．４．５歳）
	祖父母参観（２日に分けて実施）		城東学園音楽祭
	運動会（３．４．５歳）		修了式
10	給食自由参観（３．４．５歳）		卒園式
	秋のバス遠足（４．５歳児）		
	お楽しみ弁当の日（０．１．２．３歳児）		

（毎月：誕生会 年６回：体操教室）

4) 避難訓練

年間を通して、地震、火災、保護者参加の引き渡し訓練、炊き出し訓練等、あらゆる場合を想定して訓練を実施した。

月	日	訓練種別	災害状況想定	訓練目的及び内容
4	24	避難誘導訓練	保育中、地震発生、火災発生	地震について伝える。防災頭巾の被り方確認 避難の仕方、避難場所を確認
5	2	避難誘導訓練 引き渡し訓練	保育中、地震発生、火災発生、	地震時の行動（指示を聞く、揺れ対応など） 地震の避難方法を再確認。保護者への引き渡し訓練を実施し、確認
6	27	避難誘導訓練	保育中（雨天）、地震発生後火災発生	雨の場合の避難方法、避難場所、雨除け方法確認。 消火器の場所、使い方を確認
7	24	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 保育室から火災発生	水遊び、プール時の避難、誘導方法確認。 消火器の場所、使い方を確認
8	6	避難誘導訓練	朝保育中、地震発生後 火災発生	朝保育時の避難方法を確認 園長への連絡方法確認
9	24	避難誘導訓練	給食後、地震発生後 火災発生、	給食後、保育室内での地震発生時の避難方法確認。 散歩車の配置について確認
10	10	避難誘導訓練	保育中、給食室から 火災発生	給食前の地震発生時の避難方法を確認。放送設備 の取り扱い方法を確認。AED 持ち出し訓練 水消火器を使った消火器の取り扱い方実地訓練 救護訓練。支援 S 参加方法確認
11	4	施設防災訓練	保育中、地震発生後火災発生	第一避難所から第二避難所までの避難誘導訓練 炊き出し訓練実施。防災倉庫の点検 発電機の取り扱い。備蓄品確認。通報訓練実施
12	23	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 火災発生	避難誘導訓練実施。減災教育について共通理解 消火器の持ち出し訓練実施、確認
1	15	避難誘導訓練	夕保育時、地震発生後 給食室から火災発生	職員は連携と役割分担の確認 人数把握と連絡方法確認
2	26	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 地震と火災発生 土砂災害発生	震度 5 を想定した地震発生時の避難方法確認 県道側土砂災害発生に伴う避難経路確認 消火器の持出し訓練実施、確認
3	26	避難誘導訓練	保育中、地震発生後、 給食室から火災発生	春休み午前の保育中地震発生時の避難方法確認 消火器持ち出し訓練実施、確認

5) 不審者防犯訓練

毎月1回不審者訓練を行う中で、園児の安全確保の方法や職員間の連携、役割等の検討改善に努めた。

6) 健康管理

月	実施日	検査内容	対象者	備 考
4	4/16. 4/30	尿検査（一次、二次）	3. 4. 5 歳児	静岡県予防医学協会
5	5/21	尿検査（三次）	3. 4. 5 歳児	静岡県予防医学協会
5	5/13. 5/20	内科検診	園児全員	大貫園医
5	5/16. 5/30	歯科健診	園児全員	中島園医
6	6/25	職員健診	職員	笠南医療センター
10	10/7. 10/21	内科健診	園児全員	大貫園医
10	10/29. 10/30	視力検査	4 歳児	園実施
11		ストレスチェック	職員	静岡県予防医学協会
11	11/27. 12/4. 11	インフルエンザ予防接種		菅沼医院

*園児は毎月発育測定、職員は毎月保菌検査を実施した。（給食職員は月2回、ノロ年1回）

*4・5歳児はフッ素洗口を毎日実施した。

7) 訪問・教室

*茶道体験（5歳児）各クラス年1回

8) 延長保育利用者数（7：00～7：29）

月	1日平均(人)	月	1日平均(人)	月	1日平均(人)
4	3.8	8	5.3	12	6.2
5	5.5	9	5.8	1	6.5
6	5.0	10	5.7	2	5.6
7	5.4	11	7.4	3	2.9

*年間延べ人数 1,931人（一日平均7.4人）

9) 給食（食育）

- ① 給食が子どもたちの楽しみの一つとなるよう、「意欲的に楽しく食べる元気な子」を目標に、安心・安全でおいしい給食作りを心掛けた。
- ② 給食担当者は、常に衛生面や健康面に留意しながら調理を行った。
- ③ アレルギー児の除去食や代替食、乳児に対する離乳食等は、保護者や担任と連携を取りながら進めることができた。
- ④ 4月と10月の年2回、子どもの身長と体重を成長曲線に記入して個々の栄養管理に努めるとともに、給食の給与栄養目標量の見直しをした。
- ⑤ 食育活動として、食材展示や栄養指導（ぱくぱくらんど）、絵本、紙芝居の読み聞かせや食育かるたを行い、食材や栄養に対する関心を高めるとともに食べる意欲を育てることができた。
- ⑥ 畑で収穫した野菜は給食食材として使用し、提供した。
- ⑦ 年長児とともに給食に使用した食品の色分け（三色食品群）を実施した。
- ⑧ 保護者に対しては、毎日のサンプル食と三色食品群ボードの展示、アンケート調査、食育活動についての掲示や給食メニューのレシピ配信を行った。
- ⑨ 毎月の法人栄養士会議では、各園の新メニューや行事食、食品衛生や栄養管理に関する情報交換を行った。
- ⑩ 10月の法人給食研修会では、手洗いチェッカーを利用し各自の手洗いの癖を確認したり、食中毒の基礎とよりよい手洗いについて資料や動画を参照しながら学ぶことができた。
- ⑪ 職員の異動により各園での作業の違いを感じたことでそれぞれの良さを業務改善に繋げている。

10) 主な職員研修

(1) 施設外研修

月 日	研 修 名	人数	主催者
4月 24 日	幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会	3	学校教育、保育支援課
4月 26 日	掛川小笠保育士会総会 記念講演	3	掛川小笠保育士会
5月 14 日	掛川小笠保育士会給食研修会	1	掛川小笠保育士会
5月 17 日	未来学会総会講演会	11	生涯学習センター
5月 19 日	静岡県保育士連合会西部支部施設長研修	1	静岡県保育士連合会
5月 27 日	未来学会教育研修部園務主任研修会	1	かけがわ未来学会
5月 30 日	第 75 回静岡県保育士総会	1	静岡県保育士会
5月 30 日	要保護児童対応研修会	1	掛川市こども相談課
6月 4 日	未来学会遊び研究部実技研修会	2	かけがわ未来学会
6月 5 日	キャリアアップ乳児保育研修	1	かけがわ未来学会
6月 6 日	未来学会健康安全部研修会	1	かけがわ未来学会
6月 9 日	キャリアアップマネジメント研修	1	かけがわ未来学会
6月 10 日	まなざし訪問(環境研修)	1	こども保育支援課
6月 20 日	未来学会発達支援研究部第一回研修会	1	かけがわ未来学会
6月 20 日	袋井市キャリアアップ食育とアレルギー	1	袋井市
6月 26 日	乳幼児教育未来学会教育研究部公開保育	1	かけがわ未来学会
6月 28 日	小笠地区乳幼児保健会総会講演	1	小笠地区乳幼児保健会
7月 3 日	キャリアアップ乳児保育研修	1	かけがわ未来学会
7月 4 日	未来学会遊び研究部実技研修会	1	かけがわ未来学会
7月 5 日	2025療育講演会	4	掛川小笠保育士会 めばえ
7月 11 日	袋井市キャリアアップ食育とアレルギー	1	袋井市
7月 11 日	未来学会健康安全部研修会	1	かけがわ未来学会
7月 17 日	キャリアアップ乳児保育研修	1	かけがわ未来学会
7月 25 日	未来学会発達支援研究部第二回研修会	1	かけがわ未来学会
8月 4 日	キャリアアップマネジメント研修	2	かけがわ未来学会
8月 7 日	袋井市キャリアアップ食育とアレルギー	1	袋井市
8月 19 日	キャリアアップ乳児保育研修	1	かけがわ未来学会
8月 27 日	キャリアアップマネジメント研修	1	かけがわ未来学会
8月 27 日	未来学会発達支援研究部第三回研修会	1	かけがわ未来学会
8月 28 日	未来学会園経営研究部第三回研修会	1	かけがわ未来学会
9月 4 日	衛生推進者養成講習	1	静岡県労働基準協会連合会
9月 5 日	未来学会健康安全部第一回研修会	1	かけがわ未来学会
9月 12 日	未来学会遊び研究部実技研修会	1	かけがわ未来学会
9月 13 日	掛川小笠保育士会研究発表	2	掛川小笠保育士会
10月 3 日	未来学会遊び研究部実技研修会	1	かけがわ未来学会
10月 28 日	未来学会発達支援研究部第四回研修会	1	かけがわ未来学会
11月 4 日	未来学会遊び研究部実技研修会	1	かけがわ未来学会
11月 7 日	さかがわ幼稚園まなざし(環境研修)	1	こども保育支援課
11月 15 日	第 19 回かけがわ教育の日	1	掛川市教育委員会
11月 19 日	未来学会園経営研究部第四回研修会	1	かけがわ未来学会
11月 20 日	令和7年度危機管理研修会	1	静岡県育連合会西部支部
1月 19 日	まなざし研修(管理栄養士による食育講座)	1	こども保育支援課
1月 20 日	幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会	2	学校教育課
2月 3 日	保育士・保育教諭研修会(配慮を必要とする子のいる保育)	1	静岡県保育士会
2月 7 日	保育のつどい	1	掛川小笠保育士会
2月 20 日	特別支援教育担当者会	1	こども相談課

【城東学園関連の研修】

- a 校長園長会、教務園務会、全体研修会、園小連絡会（土方小、中小、佐束小）

(2) 施設内研修

①子育て支援部

- a 3園全体研修会（年1回）
b 子育て支援部歳児別研修（各園1回ずつ）
c 新人職員研修（各年5回） リーダー研修（乳児、幼児年1回）
d 3園合同給食研修（年1回）

②法人会議

- a 施設長会議、園長会、副園長会、主幹研修会（年5回）、給食会議（月1回）

③園内会議・研修

- a 職員会議、園内研修（月1回）・乳児会議、幼児会議・学年会議
b 掛川市こども希望部園訪問（1回）

11) 実習生・ボランティア受け入れ

種 別	期 間	延べ人数	学校・団体等
保育実習	2月2日～2月18日	12人	浜松学院大学
	2月10日～2月27日	12人	浜松学院大学短期大学部
	2月16日～2月20日	5人	〃
インターンシップ	8月4日～8月5日	6人	菊川常葉高校
	2月2日～2月6日	15人	静岡県立横須賀高校
中学生保育体験	7月24日～7月31日	83人	掛川市立城東中学校
中学生職場体験	8月6日～8月7日	10人	掛川市立城東中学校
中学生家庭科2年	1月21日・23日・28日	73人	掛川市立城東中学校
合計		216人	

12) 地域交流活動

種 別	期日	参加人数
七夕	7/4	2人
トウモロコシ狩り	7/14	14人
サツマイモ掘り	10/27	2人
コスモス畑交流	10/30	5人
光る泥団子作り	2/19	30人
絵本読み聞かせ	毎月1回	70人
計		123人

3 子育て支援センター事業

子どもの健やかな成長を支援し、子育てをしている親同士の交流を促進することで子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感を緩和することを目的とし事業を進めた。

- ① 毎月何でも講座として温かくアットホームな雰囲気の中、保護者が気になっているテーマについて話し合い、情報提供を行うなど子育て中の親子の交流や育児相談ができるよう取り組んだ。
- ② それぞれの年齢の子どもに対し適切な援助を行い、利用者が安心して遊べる場所、育児について学べる場所として進めることができた。
- ③ 気軽に相談しやすい環境を整え、心の拠り所となるよう、保護者に寄り添ったサポートをすることで保護者も安心して通うことができ利用者の増加につながった。

1) 活動概要

(1) センター開放日	毎週 月～金曜日	9 時00分～15時00分
(2) 支援活動	毎週 月～金曜日	9 時00分～15時00分
(3) 園庭開放	毎週 月～金曜日	11時00分～12時00分
(4) 絵本読み聞かせ	毎月 第3 木曜日	10時30分～
(5) 身体測定	毎月 2 回	
(6) 電話・来園相談	毎週 月～金曜日	9 時00分～15時00分

2) 活動内容

ホール開放、支援活動、園庭開放、絵本読み聞かせ、身体測定、電話・来園相談 等

月	支援活動内容	月	支援活動内容
4	こいのぼり製作、手形アート（ちゅうりっぷ）	10	手形アート（ハロウィン）、ハロウィンイベント、何でも講座
5	手形アート（いちご）、	11	お散歩、手形アート（セサミストリート）、何でも講座、
6	手形アート（カエル）父の日プレゼント作り、出張のびる～む	12	クリスマス会、手形アート（トナカイ）、何でも講座
7	七夕飾り作り、水遊び、手形アート（カニ）夏祭り、何でも講座	1	お正月遊び、鬼のお面作り、豆まき会 手形アート（親子獅子舞）
8	水遊び、手形アート（おばけ） 何でも講座	2	おひな様作り、トトロの会観賞、豆まき会 手形アート（スヌーピー&ウッドストック）、何でも講座、出張のびる～む
9	敬老の日プレゼント作り、手形アート（お月見）、こども園見学ツアー 何でも講座 ベビーマッサージ	3	ひなまつり製作、手形アート（はらぺこあおむし）、お楽しみ会、何でも講座

開館時間 9：00～15：00（室内消毒12:00～13:00）

2) 利用者数(延べ人数)及び相談件数

月	利用者数（人）		相談件数(件)	月	利用者数（人）		相談件数(件)
	大人	子ども			大人	子ども	
4	78	79	4	10	169	181	2
5	125	134	6	11	164	186	3
6	162	172	3	12	135	152	1
7	169	184	3	1	147	176	3
8	106	124	2	2	187	215	2
9	211	236	3	3	192	228	2
合計					1,845	2,067	34

4 一時預かり幼稚園型事業

1号認定児を保護者の希望によって教育課程修了時以降、預かり保育を行った。

月	利用延べ人数	月	利用延べ人数	月	利用延べ人数
4	88	8	95	12	133
5	60	9	114	1	95
6	100	10	95	2	97
7	125	11	100	3	157
計					1,259

令和7年度 事業報告附属明細書 きとうこども園拠点区分

該当事項なし。

令和7年度 おおさか子ども園拠点区分事業報告書

1 令和7年度の総括

本年度は、園目標のもと子ども・保護者・地域・職員がそれぞれの立場で力を発揮し、日々の教育・保育の充実に努めた一年であった。職員の専門性向上や地域との連携を進める中で、子どもたちの主体的な姿や学びの深まりが多く見られた。

(1) 小学校との連携・接続の取組

大坂小学校との交流や職員間の情報共有を積極的に行い、生活科を軸とした「ジョイント活動」を通して園での遊びと小学校での学びをつなげた。子どもの自主性を育む環境づくりを進め、園小の円滑な接続に取り組んだ。

(2) 探求心が育つ環境づくりに努める

自然物や身近な素材を活用した探求活動を取り入れ、観察・比較・試行錯誤が生まれる場面を意図的に設定した。保育者が子どもの気づきやつぶやきを丁寧に受け止めることで探求の連続性が生まれ、学びの深まりが確認できた。

(3) 家庭・保護者の子育て支援を推進し、地域や学校との連携を深める

個別面談を通して家庭状況や保護者の思いを丁寧に把握し、必要に応じて支援機関との橋渡しを行った。保護者ボランティアの年間募集や地域交流を積極的に行い、園の様子を知ってもらう機会を増やしたことで、教育・保育への理解が深まった。

(4) 収入

園児数は開園時より100名減の159名でのスタートとなった。保育体制を整え、途中入園を円滑に受け入れることで地域のニーズに応えた。外国にルーツを持つ園児や支援を必要とする園児が増加しており、職員の資質向上が求められる中、配置基準の変更に伴う職員増員とともに、丁寧な保育を進めた。

(5) 支出

開園6年が経過し、給食室備品や遊具、園庭柵、外壁など修繕が必要な箇所が増えている。保育環境を維持しながら、節電・節水を心がけ、無駄な支出を抑えた運営に努めた。

(6) 人材確保

非常勤職員の採用により短時間勤務職員と組み合わせた配置が可能となった。保育実習から採用につながるケースも増えており、今後も実習生やボランティアの受け入れを積極的に行う。職員がやりがいを持ち、気持ちよく働ける環境づくりを進め、経験や年齢に関わらず尊敬し合える関係づくりに努めた。

(7) 魅力のある園づくり

昨年度開始した体操教室は保護者アンケートでも好評であり、園児確保の一手となっている。今後も地域に向けて園の魅力を発信し、他地域からの園児確保にもつなげていく。

2 事業内容報告

1) 園児数月別報告 全体 (R7.4.1～R8.3.31)

定員260名 (1号35名、2号160名、3号65名)

歳 月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	1号 2号	4歳児	1号 2号	5歳児	1号 2号	計	1号 2.3号	定員割 合(%)
4	6	23	23	31	3 28	37	12 25	38	10 28	158	25 133	60.8
5	6	23	23	32	4 28	36	12 24	38	10 28	158	26 132	60.8
6	6	25	23	32	4 28	36	12 24	38	10 28	160	26 134	61.5
7	8	25	23	32	4 28	36	12 24	38	10 28	162	26 136	62.3
8	8	25	23	31	4 27	36	12 24	38	10 28	161	26 135	61.9

9	9	26	23	31	4 27	37	13 24	38	10 28	164	27 137	63.1
10	11	27	23	31	4 27	38	14 24	38	10 28	168	28 140	64.6
11	11	27	23	31	4 27	38	14 24	38	10 28	168	28 140	64.6
12	11	27	23	31	4 27	38	14 24	38	10 28	168	28 140	64.6
1	12	27	23	31	4 27	38	14 24	38	10 28	169	28 141	65.0
2	12	26	23	32	5 27	38	14 24	38	10 28	169	29 140	65.0
3	12	26	23	32	5 27	38	14 24	38	10 28	169	29 140	65.0

2) 学級編成

クラス	年 齢	男児	女児	計	外国人	要支援児	担任数
いちご	0歳児	6	6	12	1		4
ばなな	1歳児	5	7	12	1		3
みかん		11	3	14			3
めろん	2歳児	6	6	12	1		2
もも		7	4	11	2		2
ぱんだ	3歳児	9	8	17	1	2	1
くま		7	8	15	1	2	1
ひまわり	4歳児	9	10	19	1	2	1
ばら		9	10	19	1		1
にじ	5歳児	9	10	19	1	2	1
そら		9	10	19			1
給食業務							7
担任外							12
支援センター							3
計		87	82	169	10	8	42

(正規職員 18 人、非常勤職員 22 人 育休 2 人)

3) 年間主要行事

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4	始業式、入園式、保護者会総会、 クラス懇談会	10	運動会 (3.4.5 歳)、交通安全教室(4.5 歳)、 参観講演会 (0.1.2 歳)、地域ふれあいサロン
5	こいのぼり集会、参観会 (3,4,5 歳) ジュビロサッカー教室(5 歳) 親子バス遠足 (5 歳)	11	施設防災訓練、七五三、収穫祭、 座禅体験茶道体験、参観会 (3,4 歳)、 交通教室 (2 歳・支援センター) 親子花育教室(5 歳児)
6	収穫祭、挨拶運動、プール開き 花火教室、プール自由参観(3,4,5 歳)、 園評議員会、地域ふれあいサロン	12	ぽかぽか発表会(4,5 歳)、クリスマス会 親子しめ縄作り (5 歳)、終業式
7	七夕会、夏祭り、個別面談 (3.4.5 歳)、 民生委員児童委員訪問、終業式、 プール納め	1	始業式、もちつき会、茶道体験 (5 歳)、 地域ふれあいサロン
8	個別面談 (0.1.2 歳)	2	ぽかぽか発表会 (2,3 歳児)、豆まき会、 園評議員会、交通教室 (5 歳)

9	始業式、引き渡し訓練、 祖父母参観会（3,4,5歳）、防犯訓練、 交通教室（3歳）	3	ひな祭り会、お別れ会、修了式、卒園式
---	---	---	--------------------

4) 避難訓練

年間を通して、地震、火災、保護者参加の引き渡し訓練、炊き出し訓練等、あらゆる場合を想定して訓練を実施した。

月	日	訓練種別	災害状況想定	訓練目的及び内容
4	18	避難誘導訓練	地震火災発生	避難の仕方避難場所を知る。消火器の位置や取り扱い方法を確認する。(職員)
5	9	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 火災発生 津波訓練	防災頭巾の被り方を覚える。火災と地震の避難方法を知らせる。
6	10	避難誘導訓練	保育中、火災発生	避難方法、場所の確認をする。消火器の使い方を確認する。
7	10	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 給食室から火災発生	緊急速報を聞き落ち着いて避難する。消火器の取り扱いに慣れる。
8	7	避難誘導訓練	保育中、地震発生後火 災発生	園児への情報伝達、避難指示を知る。
9	10	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 火災発生	逃げ遅れ者の確認。消防署への通報訓練。引き渡しについての確認。
10	18	避難誘導訓練	保育中、給食室から 火災発生	地震と火災の合図の違いがわかり避難する。放送設備の取り扱い方法の確認。
11	4	施設防災訓練	自由遊び中、 地震発生後火災発生	避難誘導、炊き出し訓練。防災庫の点検。発電機の取り扱い。救護訓練、消防署への通報訓練。水消火器を用いた消火訓練。
12	5	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 給食室から火災発生	逃げ遅れ者の確認。消火器の持ち出し訓練。
1	14	避難誘導訓練	自由遊び中、 給食室から火災発生	職員は連携をとり役割分担の徹底を図る。 自由遊び中の人数確認の徹底。
2	9	避難誘導訓練	保育中、 地震と火災発生	避難方法、避難経路人数把握など。水消火器を使 っての模擬消火訓練。消防署への通報訓練。
3	6	避難誘導訓練	自由遊び中 給食室から火災発生	合図、指示を理解し、敏速に行動する。予告なし の実施訓練にも慌てず、臨機応変に行動する。

5) 不審者防犯訓練

毎月1回防犯訓練を行う中で、園児の安全確保の方法や職員間の連携、役割等の検討改善に努めた。

6) 健康管理

月	実施日	検査内容	対象者	備 考
4	16	尿検査（一次）	4・5歳児	静岡県予防医学協会
4	30	尿検査（二次）	4・5歳児	静岡県予防医学協会
5	15.22	内科検診	園児全員	大貫園医
6	12	歯科健診	園児全員	牧野園医
6	19	職員検診	職員	笠南医療センター
7	1	職員検診	職員	笠南医療センター
10	9.23	内科検診	園児全員	大貫園医
10		ストレスチェック	職員	静岡県予防医学協会
10	4.10.18.23	インフルエンザ予防接種	職員	菅沼医院

*園児は毎月発育測定、職員は毎月保菌検査を実施した。(給食職員は月2回、ノロ年1回)

*4・5歳児はフッ素洗口を毎日実施した。

7) 訪問・体験

- (1) 茶道体験（5歳児）各クラス年1回。
- (2) 大東苑・くにやす苑・小笠の郷との交流は感染拡大防止のため、本年度は全て中止した。

8) 延長保育利用者数（7：00～7：29）

月	1日平均(人)	月	1日平均(人)	月	1日平均(人)
4	7.6	8	5.4	12	8.0
5	6.6	9	8.0	1	8.75
6	6.0	10	8.4	2	8.0
7	6.8	11	8.5	3	6.6

＊年間延べ人数 1,423 人（一日平均 7.4 人）

9) 給食（食育）

- ① 常に衛生面、健康面に留意しながら「季節の食材や食べることに興味を持ち、好きな食べ物が増える子」を目標に安全でおいしい給食づくり、健康な体づくりに努めた。
- ② 栄養士、調理員が毎月「栄養ランド」を開いた。栄養ランドでは、食物に関するクイズや話を、園児にわかりやすく、さらに興味を持ってもらえるような内容となるように給食職員で計画し、その様子を給食だよりで配信して保護者に紹介した。
- ③ 5歳児の廊下に設置している食育コーナーは、季節感を大切に、定期的に新しい媒体を作成した。実際に野菜を育て収穫する食育活動は、収穫した野菜を給食の食材として使用することで食べ物に対する興味を育むことができた。
- ④ 11月には「給食室を覗いてみよう」という内容で、給食室で実際に使用している器具や、鍋や窯を子どもに見せたり、調理中の写真を使って何の料理ができるかクイズをしたりすることで、園児の給食への関心がより高まった。
- ⑤ さらに、本年度は3歳児でも楽しく学べる食育媒体の作成に励んだ。
- ⑥ 給食職員が毎日クラスで給食と一緒に食べることで、その日の給食が実際の食育の媒体となり、子どもたちも徐々に苦手な物も食べてみようとする姿勢がみられた。
- ⑦ 給食に使われている食材を、赤・黄色・緑の食べ物（3色食品群）に分類ができるように献立表に記載しているため、園児にもわかりやすく、食材の分類を楽しんで取り組む姿がみられた。
- ⑧ 定期的に「かみかみメニュー」を献立に組みこみ、咀嚼力向上を目指したことで良く噛んで食べる姿につながった。
- ⑨ 学校給食等で発生した誤嚥事故を受け、使用できる食材に限られる中、安易に禁止食材を増やすのではなく、食べやすい形状になるように調理方法の工夫や適切な大きさになるようにカットするなど、臨機応変に対応した。
- ⑩ 給食サンプルの展示をし、給食への関心を高めるよう努めた。
- ⑪ 年1回の嗜好調査では、家庭での食事状況の把握に努め、結果をおたより等で報告すると共に食育活動に反映させた。
- ⑫ 園児一人一人の身長、体重を成長曲線に記入し、個々の栄養管理に努め、栄養価の見直しにも反映させることができた。
- ⑬ 成長曲線から大きく外れている子は、栄養士が個々に保護者と面談をして、定期的に栄養相談を行った。
- ⑭ アレルギー児対応、乳児の離乳食作りにも配慮し、園と家庭での連携を取りながら今後も安全な給食提供を心掛けていく。

10) 主な職員研修

(1) 施設外研修

月 日	研 修 名	人数	主催者
4月 16日	特別支援教育UD 講座特別支援教育UD 講座	2	大浜学園特別支援教育部
4月 24日	掛川市幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会	2	掛川市教育委員会
4月 26日	掛川小笠保育士会総会	12	掛川小笠保育士会
5月 1日	普通救命講習会	2	掛川市消防署
5月 8日	普通救命講習会	2	掛川市消防署
5月 14日	掛川小笠保育士会 給食研修会	1	掛川小笠保育士会

5月14日	キャリアアップ研修（障害児保育①）	1	袋井市
5月15日	第1回 歳児別グループ研修会	1	掛川小笠保育士会
5月17日	理事会 総会、記念講演	13	かけがわ乳幼児未来学会
5月30日	第75回 静岡県保育士総会及び研修会	1	静岡県保育士会
5月30日	掛川市要保護児童対応研修会子ども虐待について	1	こども相談課他
6月4日	遊び研究部 第1回研修会	2	かけがわ乳幼児未来学会
6月5日	キャリアアップ研修（乳児①）	1	かけがわ乳幼児未来学会
6月5日	普通救命講習会	2	掛川市消防署
6月6日	健康安全部 第1回研修会・実技	1	かけがわ乳幼児未来学会
6月9日	キャリアアップ研修（マネジメント①）	1	かけがわ乳幼児未来学会
6月10日	まなざし訪問（環境研修）	2	こども保育支援課
6月11日	キャリアアップ毛週（障害児保育②）	1	袋井市
6月12日	普通救命講習会	3	掛川市消防署
6月16日	保育士・保育教諭研修会	1	静岡県保育士会
6月20日	発達支援研究部 第1回講話	1	かけがわ乳幼児未来学会
6月20日	キャリアアップ研修（食育・アレルギー①）	1	袋井市
6月26日	公開保育① おおぶちそよ風こども園	2	かけがわ乳幼児未来学会
6月28日	小笠地区乳幼児保健会総会 並びに講演会	1	小笠地区乳幼児保健会
7月2日	中堅職員研修会	1	静岡県保育連合会西部支部
7月3日	普通救命講習会	2	掛川市消防署
7月3日	キャリアアップ研修（乳児②）	1	かけがわ乳幼児未来学会
7月4日	遊び研究部 第2回研修会	3	かけがわ乳幼児未来学会
7月5日	静岡県西部 療育講演会	13	掛川小笠保育士会
7月8日	キャリアアップ研修（幼児）	1	静岡県保育士会
7月9日	静岡県保育士等キャリアアップ研修	1	静岡県保育士会
7月9日	キャリアアップ研修（障害児保育③）	1	袋井市
7月10日	普通救命講習会	3	掛川市消防署
7月11日	健康安全部 第2回研修会・実技	2	かけがわ乳幼児未来学会
7月11日	キャリアアップ研修（食育・アレルギー②）	1	袋井市
7月17日	第2回 歳児別グループ研修会	1	掛川小笠保育士会
7月17日	キャリアアップ研修（乳児③）	1	かけがわ乳幼児未来学会
7月23日	おしゃべり会	3	こども相談課
7月24日	大坂小学校 校内研	1	掛川市立大坂小学校
7月24日	磐田市保育士等 キャリアアップ研修	1	磐田市
7月25日	発達支援研究部 第2回講話	1	かけがわ乳幼児未来学会
7月29日	特別支援研修会	1	保育支援課
8月2日	磐田市保育士等 キャリアアップ研修	1	磐田市
8月4日	キャリアアップ研修（マネジメント②）	1	かけがわ乳幼児未来学会
8月4日	事例検討会	1	子ども発達センターめばえ
8月4日	4市1町連携（森町） 保育士等キャリアアップ研修	1	森町健康子ども課
8月7日	キャリアアップ研修（食育・アレルギー③）	1	袋井市
8月7日	普通救命講習会（乳児）	2	掛川市消防署
8月19日	キャリアアップ（乳児④）	1	かけがわ乳幼児未来学会
8月20日	磐田市保育士等 キャリアアップ研修（eラーニング）	1	磐田市
8月21日	普通救命講習会（乳児）	2	掛川市消防署
8月27日	発達支援研究部 第3回講話	1	かけがわ乳幼児未来学会
8月27日	キャリアアップ研修（マネジメント③）	1	かけがわ乳幼児未来学会
8月28日	第2回 園経営研究部会	1	かけがわ乳幼児未来学会
8月30日	磐田市保育士等 キャリアアップ研修	1	磐田市
9月1日	キャリアアップ研修 保険衛生・安全対策	1	磐田市

9月 4日	普通救命講習会	2	掛川市消防署
9月 5日	健康安全部 第3回研修会・グループワーク	1	かけがわ乳幼児未来学会
9月 11日	普通救命講習会	3	掛川市消防署
9月 12日	遊び研究部 第3回研修会	1	かけがわ乳幼児未来学会
9月 13日	掛川小笠保育士会 研究発表	12	掛川小笠保育士会
9月 17日	キャリアアップ研修（障害児保育④）	1	袋井市
9月 18日	第3回 グループ研修会	1	掛川小笠保育士会
9月 29日	キャリアアップ（保護者支援・子育て支援）	1	静岡県保育連合会
9月 30日	キャリアアップ（保護者支援・子育て支援）	1	静岡県保育連合会
10月 1日	キャリアアップ（保護者支援・子育て支援）	1	静岡県保育連合会
10月 3日	遊び研究部 第4回研修会	1	かけがわ乳幼児未来学会
10月 9日	普通救命講習会	3	掛川市消防署
10月 15日	キャリアアップ（障害児保育⑤）	1	袋井市
10月 24日	第2回 園務主任研修会	1	かけがわ乳幼児未来学会
10月 24日	静岡県保育士等キャリアアップ研修	1	森町健康こども課
10月 25日	静岡県保育士等キャリアアップ研修	1	森町健康こども課
10月 28日	発達支援部 第4回	2	かけがわ乳幼児未来学会
10月 29日	民間防火組織指導者消防学校体験入校	1	静岡県消防学校
10月 30日	子ども虐待に向けた講習会	1	静岡県歯科医師会
10月 31日	静岡県人材育成研修会	1	保育士連合会
11月 1日	小笠地区乳幼児保健会講演会	1	小笠地区乳幼児保健会
11月 4日	かけがわ乳幼児未来学会あそび研究部 実技研修会	1	かけがわ乳幼児未来学会
11月 6日	福祉サービス苦情解決研修会	1	県保育士会西部地区
11月 7日	まなざし訪問（環境研修）	1	こども保育支援課
11月 19日	園経営研究部 第4回研修会	1	かけがわ乳幼児未来学会
11月 20日	危機管理研修会	1	静岡県保育連合会西部支部
12月 2日	保育士・保育教諭研修会（食育）	1	静岡県保育士会
1月 19日	まなざし研修	1	こども保育支援課
1月 20日	掛川市幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会	2	掛川市教育委員会
1月 26日	第3回 おしゃべり会	2	こども相談課
2月 3日	保育士・保育教諭研修会	1	静岡県保育士会
2月 7日	保育のつどい	11	掛川小笠保育士会
2月 17日	保育所等給食関係者研修会	1	静岡県西部保健所
3月 3日	第4回 掛川小笠保育士会理事会	1	掛川小笠保育士会

【大浜学園関連の研修】

- a 園務教務研究部会、生徒指導部会に年4回ずつ出席
- b 園長校長研究部会に年3回出席
- c 研修部に年2回出席
- d 全体研修会に7名参加(大坂小)
- e 園小連絡会を年2回実施
- f 異校種交流に正規職員参加(大浜中、大坂小、ちはまこども園)

(2)施設内研修

① 子育て支援研修会

- a 歳児別部会を歳児ごと1回ずつ実施
- b 新人部会を年5回実施、
- c リーダー部会を年2回実施
- d 子育て支援部全体研修会を1回実施

② 法人会議

- a 施設長会議、園長会、副園長会、給食会議を毎月1回実施、主幹会議を7回実施
- b 園内研修を毎月実施、必要に応じて適宜追加で実施

- c リーダー会議は学期に1回実施
- d 幼児、乳児、学年会議は随時実施

11) 実習生・ボランティア受け入れ

種 別	期 間	延べ人数	学校・団体等
保育実習	5/19～5/31	10	常葉大学
	9/1～9/17	20	浜松学院短期大学
自主実習	9/18～9/20	3	東海こども専門学校
職場体験	9/3～9/5	3	桜が丘中学校
	10/1～10/3	27	大浜中学校
保育体験実習	11/12	38	横須賀高校
ふれあい体験学習	11/17. 11/18. 11/20	99	大浜中学校
計		200	

12) 地域交流活動

種 別	期 間	参加人数
野菜の苗植え	5月 8日	2人
玉ねぎ収穫	5月 15日	6人
じゃがいも収穫	5月 30日	8人
収穫祭・カレー試食	6月 4日	2人
さつまいもつるさし	6月 16日	6人
大根種まき	9月 8日	1人
さつまいも掘り	10月 27日	7人
玉ねぎ植え	11月 11日	5人
しめ縄作り	12月 18日	10人
じゃがいも植え	2月 18日	6人
計	10日間	52人

3 子育て支援センター事業

親子が気軽に集まり、子育て中の親同士が自然につながれる場づくりを進めてきた。利用しやすい環境を整えるだけでなく、子育ての不安や悩みを安心して話し合える温かな雰囲気づくりにも力を入れてきた。

- ① 季節の遊びやイベント、育児のヒントが得られる講座など、親子で楽しみながら学べる取り組みも工夫して実施している。天気の良い日には、支援センター横の「ワイーの森」で親子がのびのびと触れ合う姿が見られ、笑顔で交流する様子がとても印象的であった。
- ② 支援センターの利用が入園へのスムーズなつながりとなるよう、家庭と園を結ぶ役割も大切にしている。
- ③ 今後も地域の親子が安心して利用できる場を提供し続け、親しまれる支援を目指しながら、新しい活動も取り入れて取り組みをさらに充実させていく。

1) 活動概要

(1) センター開放日	毎週	月～金曜日	9時00分～15時00分
(2) 支援活動	毎週	月～金曜日	9時00分～15時00分
(3) 園庭開放	毎週	月～金曜日	10時30分～15時00分
(4) 絵本読み聞かせ	毎週	火曜日	10時30分～
(5) 身体測定	毎月	月～金曜日	9時00分～12時00分
(6) 電話・来園相談	毎週	月～金曜日	9時00分～15時00分

2) 活動内容

ホール開放、支援活動、園庭開放、絵本読み聞かせ、身体測定、電話・来園相談等

月	支援活動内容	月	支援活動内容
4	こいのぼり製作 歳児別サークル 誕生会 母の日のプレゼント製作	10	園見学、誕生会
5	母の日のプレゼント製作、誕生会 園栄養士の栄養相談	11	出前保育、園見学、誕生会 親子交通安全教室
6	父の日のプレゼント製作、園見学、誕生会 プール遊び、七夕飾り作り	12	クリスマス会 誕生会
7	プール遊び、園見学、誕生会 夏まつり	1	鬼のお面製作 誕生会
8	プール遊び、園見学	2	おひな様製作 豆まき会、誕生会
9	祖父母のプレゼント製作 園見学 誕生会、栄養相談	3	記念製作、栄養相談

開館時間 9：00～15：00（室内消毒の為12：00～13：00は休み）

3) 利用者数(延べ人数)及び相談件数

月	利用者数（人）		相談件数(件)	月	利用者数（人）		相談件数(件)
	大人	子ども			大人	子ども	
4	30	29	4	10	76	82	4
5	67	74	4	11	72	66	2
6	82	96	3	12	72	56	4
7	70	81	4	1	87	74	3
8	46	53	3	2	94	110	3
9	109	118	4	3	69	83	3
合計（年間）					874	922	41

4 一時預かり幼稚園型事業

1号認定児を保護者の希望によって教育課程修了時以降、預かり保育を行った。

月	利用延べ人数	月	利用延べ人数	月	利用延べ人数
4	90	8	105	12	151
5	107	9	135	1	158
6	141	10	146	2	126
7	162	11	132	3	156
合計（年間）					1,609

5 一時預かり一般型事業 令和3年11月～休止

一時預かり事業については、配置職員の確保が困難なため、休止している。

令和7年度 事業報告附属明細書 おおさかこども園拠点区分

該当事項なし。

令和7年度 ちはまこども園拠点区分事業報告書

1 令和7年度の総括

本年度は、園目標のもと子ども・保護者・地域・職員がそれぞれの立場で力を発揮し、園全体が落ち着いて充実した一年となった。日々の教育・保育や地域との関わりを通して、子どもたちの主体性や思いやり、挑戦する姿が多く見られた。

(1) 自ら環境に関わり、主体性を発揮して取り組む姿を大切にする

子どもの気持ちや願いを丁寧に受け止め、安心して挑戦できる環境を整えたことで、「やってみよう」と心を動かし活動に取り組む姿が多く見られた。子どもの姿から環境を再構成し、興味や関心に基づいた遊びや生活が広がった。

(2) 人とのかかわりを通して、思いやりやコミュニケーション力、規範意識の芽生えを培う

子どもの思いを言語化し伝え合う機会を大切にすることで、自分の思いが伝わる喜びや相手の思いに気付く姿が見られた。友達との関わりが深まり、思いやりや社会性の芽生えが育まれた。

(3) 自然や人との関わり、様々な体験により、体を動かす楽しさ、意欲、頑張る力、豊かな感性を育てる

園内外での体験活動を通して、体を動かす楽しさや挑戦する意欲が育まれた。活動の中で達成感を味わう場面も多く、豊かな感性や頑張る力が育った。

(4) 0歳から就学前までの一貫した教育・保育に努め、一人一人の思いを大切に、自己肯定感を育む

園内研修では公開保育の視点を共有し、正規・非常勤問わず全職員が参加した。保育者の援助や言葉かけを見合うことで保育の質を振り返り、一貫した教育・保育の理解が深まった。学んだことを日々の保育に活かし、子どもの思いを尊重する関わりを大切にした。

(5) 保護者に対する子育て支援を推進し、地域や学校との連携を深める

研修で学んだ支援の視点を保護者にも返し、相談では思いに寄り添いながら情報を共有したことで、家庭と園が同じ方向性で子どもに関わることができた。保護者の安心感にもつながり、子育て支援の充実が図られた。

(6) 収入

3～5歳児の1号認定児が3名増加した一方、0歳児の4月入園希望がなく97名でのスタートとなった。市と連携しながら0歳児の途中入園を積極的に受け入れ、安定した運営につなげた。

(7) 支出

開園6年目となり、遊具・園庭柵・扉の鍵・床など修繕箇所が増加した。職員の節約意識を高め、電気・水道料の節減や事務費削減に努めながら運営を行った。

(8) 人材確保

短時間勤務職員が多い体制の中で、多様な働き方に対応し、家庭と仕事の両立ができる環境整備を進めた。実習生やインターンシップの受け入れも積極的に行い、魅力ある職場づくりと将来の人材確保につなげた。

(9) 環境維持管理

ヒヤリハットの分析や職員間の情報共有を徹底し、安全面を第一に考えた環境整備を進めた。避難訓練・不審者訓練後の振り返りを行い、改善点を共有するサイクルが定着した。園内の環境をきめ細かく点検し、必要な修繕に速やかに対応した。

2 事業内容報告

1) 園児数月別報告 (R7. 4. 1～R8. 3. 31) 定員110名 (1号25名、2号45名、3号40名)

歳 月	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳児			4 歳児			5 歳児			計	定員割合 (%)
4	0	14	15	25	1 号	9	22	1 号	7	22	1 号	7	98	89.1
					2 号	16		2 号	15		2 号	15		
5	0	14	15	25	1 号	9	21	1 号	6	22	1 号	7	97	88.2
					2 号	16		2 号	15		2 号	15		
6	0	14	15	25	1 号	9	21	1 号	6	22	1 号	7	97	88.2
					2 号	16		2 号	15		2 号	15		

7	0	14	15	25	1号 2号	9 16	21	1号 2号	6 15	22	1号 2号	7 15	97	88.2
8	1	14	15	25	1号 2号	9 16	21	1号 2号	6 15	22	1号 2号	7 15	98	89.1
9	1	14	15	25	1号 2号	9 16	21	1号 2号	6 15	22	1号 2号	7 15	98	89.1
10	3	15	14	25	1号 2号	9 16	21	1号 2号	6 15	22	1号 2号	7 15	100	90.9
11	4	15	15	25	1号 2号	9 16	21	1号 2号	6 15	22	1号 2号	7 15	102	92.3
12	6	15	15	25	1号 2号	9 16	21	1号 2号	6 15	22	1号 2号	7 15	104	94.5
1	6	15	15	25	1号 2号	9 16	21	1号 2号	6 15	22	1号 2号	7 15	104	94.5
2	6	14	15	25	1号 2号	9 16	21	1号 2号	6 15	22	1号 2号	7 15	103	93.6
3	6	14	15	25	1号 2号	9 16	21	1号 2号	6 15	22	1号 2号	7 15	103	93.6
合計	33	172	179	300	1号 2号	108 192	253	1号 2号	73 180	264	1号 2号	84 180	120 1	91.0

2) 学級編成・職員数

3月31日現在 (人)

クラス	年 齢	男児	女児	計	外国人	要支援児	職員
ひよこ	0歳児	2	4	6	1		2
りす	1歳児	7	7	14	1		3
うさぎ	2歳児	8	7	15	1	1	3
ぱんだ	3歳児	8	5	13		2	1
こあら	3歳児	8	4	12			1
きりん	4歳児	10	11	21	2	2	1
ぞう	5歳児	12	10	22	3	4	1
給食業務							4
担任外							11
支援センター							2
計		55	48	103	8	9	29

正規 11人
非常勤 18人

3) 年間主要行事

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4	入園式 始業式 尿検査	10	内科健診 運動会 交通教室 サツマイモ収穫 収穫祭
5	親子バス遠足 玉葱収穫 サッカー教室 園小合同避難訓練 内科健診 園小連絡 会いちご摘み サツマイモつるさし 民生委員訪問	11	福祉施設防災訓練 玉葱植え 園小交流 あいさつ運動 防犯教室 視力検査
6	歯科健診 園小交流会 あいさつ運動 交通教室 園評議員訪問 ジャガイモ掘り プール開き 家族参観 花火教室	12	発表会 (4,5歳) クリスマス会 しめ縄飾り作り (5歳) 大根収穫 終業式
7	自由参観 給食試食 七夕会 夏祭り 園小接続研修公開保育 プール納め 終業式 個別面談	1	始業式 餅つき会 茶道体験 園小合同避難訓練 陶芸教室 発表会 (2,3歳) 座禅体験

8	個別面談	2	豆まき会 交通安全教室 陶芸教室
9	始業式 大浜学園合同引き渡し訓練 祖父母参観 市教委訪問	3	ひな祭り会 お別れ会 修了式 卒園式

4) 避難訓練 年間を通して12回（地震訓練9回、火災訓練2回、洪水訓練1回）を実施した。

月	日	訓練種別	災害状況想定	訓練目的及び内容
4	22	避難誘導訓練	地震・火災発生	地震の合図、避難方法を知る。
5	14	避難誘導訓練	保育中強度地震・津波発生	地震、津波発生。千浜小3階への避難方法を知る。 (4,5歳)
6	17	避難誘導訓練	水遊び・プール遊び中 中度地震発生	地震発生。避難方法を確認する。
7	29	避難誘導訓練	保育中火災発生	火災時の避難方法を確認する。
8	21	避難誘導訓練	自由遊び中中度地震発生	避難方法を確認する。防災倉庫・備蓄食点検。
9	10	総合防災訓練	保育中強度地震発生・津波発生	保護者への引き渡し方法の確認をする。
10	24	避難誘導訓練	登園後の地震発生	登園後すぐの避難方法を確認する。
11	5	総合防災訓練	社会福祉施設の防災訓練 (強度地震発生後、火災発生) Jアラート	様々な訓練を行い、保育者自身の災害への意識を高めていく。(消火・通報・炊き出し・救護訓練)
12	15	避難誘導訓練	保育中強度の地震	震度5を想定した訓練。室内の安全な場所を探し、身を守る。
1	15	避難誘導訓練	保育中強度の地震後、給食室より火災発生津波発生	地震、火災、津波発生。小学校合同避難訓練として小学校3Fまで避難をする。
2	19	避難誘導訓練	保育中強度の地震発生	園外保育から帰って来る時の地震発生。職員の判断、連携を確認する。
3	25	避難誘導訓練	保育中火災発生	避難、消火活動についての確認をし、職員の災害に対する危機意識を高める。

5) 不審者訓練

年間計画に基づき、園児や職員が不審者への対応や安全確保の仕方について12回の訓練を行った。また、11月には掛川警察署による講習を行い、不審者に対しての話や実践訓練等、園児にもわかりやすい指導を受けた。

6) 健康管理

月	実施日	検査内容	対象者	備考
4	16・30・5/21	尿検査	3.4.5歳児	静岡県予防医学協会
5	16・30	内科健診	園児全員	笠原医院
6	1	歯科健診	園児全員	牧野歯科
6	19・25 7/1	健康診断	職員	笠南医療センター
10	3・10	内科健診	園児全員	笠原医院
11	20	ストレスチェック	職員	静岡県予防医学協会

*4.5歳児 フッ素洗口実施 *職員の保菌検査毎月実施。(給食担当者は月2回実施)

7) 訪問・教室

茶道体験(5歳児)は1回行った。
くにやす苑へ2回交流で行き、その他遊技や歌の動画を送った。

8) 延長保育利用者数 (7:00~7:29)

月	一日平均(人)	月	一日平均(人)	月	一日平均(人)
4	2.2	8	2.6	12	1.4
5	2.0	9	2.3	1	0.9
6	2.0	10	1.5	2	2.3
7	2.2	11	1.4	3	1.6

※年間延べ人数 438人 1日平均 1.8人

9) 給食(食育)

給食を楽しみの一つとし、生きる力の基盤となるよう、安心・安全な調理を心掛けた。また、アレルギー児への除去食や乳児への離乳食については、園長と保護者、担任、栄養士が密に相談しながら間違いのないよう安心安全に提供することができた。

給食担当者はクラスへ出向き、園児の食べる様子を観察するとともに、担任や子どもたちへの聞き取りを行い、個々の嗜好や適切な食事量を把握した。その上で、成長に必要な栄養量の確保に努めた。特に極端な偏食のある園児に対しては、毎日の御飯に強化米等を加え、栄養バランスの維持に注意を払った。

年2回の給与栄養目標量の算定と、4月および10月の身体測定をもとに身体発育調査を実施した。肥満や痩せの判定を行いながら栄養量の適正性を確認し、必要に応じて園児と保護者に食生活の指導を行った。

栄養指導(もぐもぐ講座)や食育絵本の読み聞かせを行い、食材や栄養への関心を高め、食べる意欲の向上に努めた。さらに、季節の野菜や近海で採れた魚を用い、見たり触れたり臭いをかぐなど五感を通じて楽しむ展示や体験型食育講座を実施し、食の大切さを発信した。

保護者に対しては、毎日のサンプル食を展示するとともに、アンケート調査を実施して好き嫌いや家庭での困り感を把握した。さらに、給食日よりでは食事のマナーや噛むことの重要性、食中毒予防のポイントなど、家庭で役立つ情報を分かりやすく発信した。また、もぐもぐ講座の内容や子どもたちの様子を伝えたり、エントランスには子どもに人気の給食レシピを写真付きで掲示したりして家庭でも再現できるようにしたことで、親子で給食への関心がさらに高まった。

毎月、おおさかこども園、きとうこども園との給食会議において、新メニューの検討や食品衛生に関する最新情報を確認し合うことができた。

10) 主な職員研修

①施設外研修

月 日	研 修 名	人数	主催
4月11日	就学支援担当者会	1	掛川市教育委員会
4月16日	大坂小「特別支援教育UD講座」(Zoom)	8	大坂小学校
4月24日	幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会	2	学校教育課 こども保育支援課
4月26日	掛川小笠保育士会総会、講演会	10	掛川小笠保育士会
5月8日	園経営研究部会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
5月14日	掛川小笠保育士会給食研修会	1	掛川小笠保育士会
5月15日	グループ研	1	掛川小笠保育士会
5月17日	未来学会総会記念講演	11	かけがわ乳幼児教育未来学会
5月19日	県保連総会西部支部研修会	1	静岡県保育所連合会
5月23日	保育オンラインセミナー(Zoom)	7	ベネッセ
5月27日	未来学会園務主任研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
5月30日	令和7年度要保護児童対応研修会	1	掛川市
5月30日	県保育士会総会	1	静岡県保育士会

6月4日	未来学会遊び研究部研	2	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月5日	未来学会キャリアアップ研修会(乳児教育)	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月6日	未来学会健康安全研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月16日	保育士・保育教諭研修会 (ドキュメンテーション)	1	静岡県保育士会
6月19日	小笠地区学校保健会講演会	1	小笠地区学校保健会
6月20日	未来学会発達支援研究部研	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月20日	未来学会キャリアアップ研(食育)	1	袋井市
6月20日	静岡県保育連合定期総会・所長研修会	1	静岡県保育連合会
6月25日	大浜学園全体研修会	7	大浜学園
6月26日	未来学会教育研究部研	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月30日	まなざし訪問(支援研修)	3	掛川市こども保育支援課
7月3日	未来学会キャリアアップ研修会(乳児教育)	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月4日	未来学会遊び研究部研	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月5日	療育講演会	4	掛川小笠保育士会
7月8日	キャリアアップ(幼児保育)	1	静岡県保育士会
7月9日			
7月10日			
7月11日	未来学会健康安全研究部研	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月11日	未来学会キャリアアップ研(食育)	1	袋井市
7月17日	未来学会キャリアアップ研修会(乳児教育)	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月24日	外国にルーツを持つこどもの現状と支援 (Zoom)	1	静岡県教育委員会
7月25日	未来学会発達支援研究部研	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月29日	コーディネーター研修会	1	掛川市こども保育支援課
8月1日	育児研修会	1	静岡県保育連合会
8月7日	未来学会キャリアアップ研(食育)	1	袋井市
8月7日	救命講習	4	掛川市消防本部
8月19日	未来学会キャリアアップ研修会(乳児教育)	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月21日	救命講習	4	掛川市消防本部
8月27日	未来学会発達支援研究部研	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月28日	園経営研究部会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
9月5日	未来学会健康安全研究部研	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
9月12日	未来学会遊び研究部研	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
9月13日	掛川小笠保育士会 研究発表	2	掛川小笠保育士会
9月18日	HOINQ スタート記念講演会 (Zoom)	8	学研
9月19日	西部支部新人研修会	1	静岡県保育連合会西部支部
9月29日	キャリアアップ(保護者支援)	1	静岡県保育連合会

9月30日			
10月1日			
10月3日	未来学会遊び研究部研	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
10月6日	キャリアアップ(幼児教育)(Zoom)	1	静岡県保育士会
10月9日	HOINQ スタート記念講演会 配慮児も安心できる園づくり(Zoom)	6	学研
10月15日			
10月16日	キャリアアップ(食育・アレルギー対応)	1	静岡県保育士会
10月17日			
10月24日	未来学会園務主任研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
10月27日		3	
10月28日	人権研修(Zoom)	7	静岡県人権啓発センター
10月31日		3	
10月28日	未来学会発達支援研究部研	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
10月31日	保育士のための人材育成研修	1	静岡県保育連合会
11月4日	未来学会遊び研究部研	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11月5日	保育士・保育教諭研(危機管理)	2	静岡県保育士会
11月15日	かけがわ教育の日	2	掛川市
11月19日	まなざし研修(管理栄養士による食育講座)	1	掛川市こども保育支援課
1月20日	幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会	1	学校教育課 こども保育支援課
2月3日	保育士・保育教諭研修会 (配慮を必要とする子)	1	静岡県保育士会

大浜学園

- ・園長校長研究部会、園務教務研究部会、生徒指導研究部会に(各部年4回)
- ・研修部会に年2回
- ・接続研修部会年2回
- ・全体研修会に9名参加
- ・園小連絡会を年2回
- ・異校種交流に7名参加(千浜小)

②施設内研修

☆子育て支援部研修

- ・歳児別部会を1回ずつ実施(公開保育は1歳以上)
- ・リーダー部会を年2回実施
- ・新人部会年5回実施

☆法人会議

- ・施設長会議、園長会、副園長会、給食会議を毎月1回実施 主幹会議を年5回実施

☆園内会議・研修

- ・園内研修 月1回実施
- ・職員会議 月1回実施
- ・乳児、幼児会議 月1回実施
- ・支援を要する園児のケース会議、就学支援対象児に関する会議
- ・掛川市こども希望部園訪問9月

・千浜小接続研修会

11) 実習生・ボランティア受け入れ

種 別	期 間	延べ人数	学校・団体等(実人数)
インターンシップ	2月2日～2月6日	10	横須賀高校(2)
ふれあい体験	7月30日～8月1日	6	小笠高校(2)
教育実習	9月3日～9月9日	5	常葉大学(1)
	2月3日～2月25日	15	常葉大学(1)
職場体験	10月1日～10月3日	12	大浜中学校(4)
計		48	

12) 地域交流・ボランティア

種 別	期 間	延べ人数	団体等
絵本読み聞かせボランティア	6月～3月	27	わたぼうし
畑の先生	5月～2月	20	千浜地区農地保全会
夏祭り	7月11日	10	千浜地区
しめ縄飾り作り指導	12月17日	8	千浜・大坂地区の皆様
陶芸教室	1月26日・2月16日	2	千浜地区(太田さん)
計		67	

3 子育て支援センター事業

地域の親子が親しみをもち、交流の場として利用できるよう温かい雰囲気を大切にしながら地域に開かれた支援センターとなるよう取り組んできた。

出前保育では園の畑で季節の野菜の収穫体験を行ったり、園のお散歩コースを紹介したりしながら地域の社会資源を活用できるような活動も取り入れた。

また、発達についての相談を丁寧に答えたり、支援員による相談や栄養士が食育講座で離乳食の個別相談を個々に行ったりしたことで地域の子育て支援にもつながり、安心して利用できる場となった。今後も、地域の方々に寄り添った活動や支援を充実させていく。

1) 活動内容

・センター開放日	毎週 火～木曜日	9時00分～15時00分
・支援活動	毎週 火～木曜日	10時00分～10時30分
・園庭開放	毎週 火～木曜日	10時30分～15時00分
・絵本読み聞かせ	毎週 水曜日	10時30分～
・身体測定	毎月 2回	
・電話・来園相談	毎週 火～木曜日	9時00分～15時00分

月	内 容	月	内 容
4	ふれあい遊び こいのぼり作り 読み聞かせ(大東図書館)	10	園外散歩(さつまいも収穫) ハロウィン飾り作り とんぼ制作 読み聞かせ(大東図書館)
5	母の日のプレゼント作り 園外散歩 読み聞かせ(大東図書館) お散歩バック作り 手形スタンプ	11	小麦粉粘土 はじき絵 読み聞かせ(大東図書館)
6	父の日のプレゼント作り 新聞紙遊び シャボン玉遊び かたつむり作り 読み聞かせ(大東図書館)	12	クリスマス飾り作り リズム遊び 読み聞かせ(大東図書館)
7	七夕飾り作り 水遊び 夏祭りごっこ 読み聞かせ(大東図書館)	1	絵馬作り お正月遊び 手形足形製作 読み聞かせ(大東図書館)
8	水遊び 食育講座 読み聞かせ(大東図書館)	2	豆まき会 手袋制作 お雛様製作 読み聞かせ(大東図書館)

9	敬老の日のプレゼント作り 手作りおもちゃ作り 読み聞かせ（大東図書館）	3	手形製作 園外散歩 読み聞かせ（大東図書館）
---	---	---	------------------------------

2) 利用者数(延べ人数)及び相談件数

月	利用者数（人）		相談件数 （件）	月	利用者数（人）		相談件数 （件）
	大人	子ども			大人	子ども	
4	11	16	1	10	34	45	2
5	15	19	2	11	22	27	2
6	23	30	2	12	15	19	1
7	27	30	2	1	29	38	2
8	16	18	2	2	25	34	2
9	23	28	2	3	23	31	2
合計（年間）					263	335	22

4 一時預かり幼稚園型事業

1号認定児の保護者からの申請により、教育課程終了時以降、預かり保育を行った。

月	利用延べ人数	月	利用延べ人数	月	利用延べ人数
4	76	8	39	12	68
5	58	9	56	1	78
6	58	10	61	2	79
7	80	11	66	3	75
合計（年間）					794

令和7年度 事業報告附属明細書 ちはまこども園拠点区分

該当事項なし。

令和7年度 大東苑及び障害福祉拠点区分 事業報告

1 令和7年度の総括について

本年度は、利用者一人ひとりの個別ケアの推進と、職員の専門性向上を軸に、ケアの質の向上と安定した事業運営に取り組んだ。

(1) ケアの質の向上

利用者一人ひとりの「今」を大切にすると個別ケアを推進し、ブロック会議やリーダー会議を重ねながら介護の質向上に取り組んだ。小さな変化に気づき、記録として共有することで、職員間の学びと連携も深まった。一方で、OJT 体制には課題が残り、指導方法や役割分担の明確化が今後の改善点となっている。職員研修や振り返りを通じて専門性の向上に努め、ケアに対する自信と誇りを育む取り組みは継続して実施した。また、「人・ことば・笑顔」を大切にしたい関わりを徹底することで、利用者・職員双方に安心感と笑顔が広がる環境づくりを進めることができた。

(2) サービスマナーの徹底に向けた取り組み

対人援助専門職の自覚を高め、働きやすく意欲的に取り組める職場づくりを目指し、サービスマナーの徹底に向けた取り組みを進めた。不適切ケアの芽を摘むことを目的とした委員会活動や各事業所でのグループワークを通して職員間の対話を促し、自覚的な言動の定着を図った。

(3) 認知症ケアの学び体制の構築

利用者が安心できる「環境」と「接遇」を整え、誰もが適切な認知症ケアを実践できる体制づくりを進めてきた。しかし現状では、職員の対応にばらつきが見られることが課題となっている。そのため、認知症ケアに関する継続的かつ段階的な学びの体制を構築し、職員全体で共通理解を深め、対応力の向上を図っていく。

(4) 中長期修繕計画

必要となる修繕項目の洗い出しと費用の精査を行い、中長期的な修繕計画の作成に取り組み建物 の安全性と快適性を維持するため、修繕の方向性を整理した。

(5) 経営の安定化

将来にわたり事業を継続することで、地域の福祉拠点としての責務を果たしていくことを念頭に置き、サービスの質の向上を意識しながら、数値目標を設定し事業運営に取り組んできた。しかし、いずれの項目においても当初の目標値には達しない結果となったため、改善策を講じ、サービス向上と経営基盤の強化を図る。

(特別養護老人ホーム大東苑)

利用者の生活に【笑顔】と【安心】を提供できる事業所を目指して取り組んできた。

「笑顔」については、【目】や【耳】で楽しめる行事や外出を企画し、日々の変化に気づくためのブロック会議を通して個別ケアにも努めた。一方で、個別の楽しみの実現には課題が残ったが、ブロック体制への移行により、今後はより個別性の高い支援に力を入れていく。「安心」については、リーダー会議で毎月「不適切ケアの排除」をテーマに取り組み、ケア目標の周知や自己チェックシートの活用により、ケアの質向上を図った。今後も「接遇向上」と「不適切ケアの排除」を継続し、「利用者本位」の統一したケアの実践を目指していく。

(大東ショートステイサービス)

利用者が安心して過ごせる環境づくりを基本に、コミュニケーションを重視した支援を行った。行事・レクリエーションは、毎月2回のお楽しみ行事を利用者の意見を踏まえて実施し、日々の体操や活動も継続することで、楽しみの提供と生活リズムの維持に努めた。入院・入所に伴う利用中止が多く、稼働率は目標値を下回った。一方で、利用者のニーズに即応できる受入体制の整備をすすめる柔軟な運用を図った。職員のスキルアップは、一部取り組めたものの、研修参加や情報共有が不十分だった。研修内容を活かせる体制を整え、サービスの質向上につなげていく。

(大東デイサービスセンター)

利用者の6割以上が90代という高齢化の影響に加え、本年度末から年始にかけては寒冷期特有の体調不良による欠席が相次ぎ、稼働率は一時60%台まで低下する状況となった。しかし、この状況を「利用者一人ひとりと向き合う機会」と捉え、職員は対話の時間を増やし、体調や心身の変化に気づく力を高めながら丁寧な支援を継続した。その結果、利用者アンケートでは「親身な対応で安心できる」と高い評価を得ることができた。稼働率低下という課題はあったものの、サービスの質向上を通じて利用者・家族との信頼関係をより深めることができた。今後もこの信頼を基盤に、健康管理の徹底と利用率の回復、そして質の高いサービス提供に努めていく。

(掛川市南部大東地域包括支援センター)

毎日の情報共有や2か月に1回のふくしあ内での連携会議等を通して情報を整理し対策を検討し、問題が重度化する前に早期介入ができ、関係機関と連携を図りながら必要なサービス調整を行うことができた。毎年実施している「民生委員・包括高齢者実態把握調査票」対象者の独居・高齢者世帯宅への訪問は民生委員の調査票を基に進め、同時に、相談ケースが増加し続けている窓口対応や電話連絡などで態把握を行っている。また、「災害時に必要な」情報の一覧表を随時作成し、今後も状況に応じて更新する。

(大東ヘルパーステーション及び障害福祉サービス)

若年層の利用者が増加傾向にあり、従来の高齢者中心の支援では難しい場面があった。職員間での意見交換、情報共有を強化し、一人ひとりに合わせた適切な声掛けや支援方法の統一に努めた。利用者の生活状況や体調の変化に応じて、支援内容を適宜見直し、安全面に配慮しながら個々のニーズに応じた柔軟なかつ適切な対応に心掛けた。また、毎月のヘルパー会議では利用者の状況や支援内容の共有を行い、サービス提供上の課題について検討を行い、職員間の連携を強化し、チームとしての対応力向上を図った。

(大東居宅介護支援事業所)

権利擁護、生活困窮者支援、障害福祉サービス等、介護保険以外の知識を深めるため、居宅全体で研修や事例検討会に参加し、支援困難な事例にもチームで取り組んだ。昨今依頼が急増している終末期ガン療養者については、訪問看護合同の研修に参加し、ACP（人生会議）についての知識、医療職を含めた多職種連携の大切さについて理解を深め、共有し、実際の支援に活かすことができた。また、支援困難な事例が増えていく中で、ケアマネジャーが一人で抱え込むことのないよう、週1回の特定事業所会議内で情報共有を徹底し、事業所全体で利用者を支える意識を共有し、連携の強化を図った。メンタルケアやモチベーションの維持については、重視して取り組みを継続する。

2 利用動向について

1) 特別養護老人ホーム大東苑入所者延べ数月別報告(定員 50 名) (単位: 人)

月	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率 (%)
4	30	0	540	452	420	1, 442	96. 1
5	31	0	591	496	411	1, 529	98. 6
6	30	0	600	480	390	1, 500	100
7	31	0	620	470	399	1, 520	98. 0
8	31	0	651	465	403	1, 550	100
9	30	0	570	480	420	1, 500	100
10	31	0	594	512	363	1, 500	96. 7
11	30	0	643	477	330	1, 480	98. 6
12	31	0	666	474	327	1, 498	96. 6
1	31	0	675	443	295	1, 444	93. 1
2	28	0	627	430	205	1, 290	92. 1
3	31	0	752	527	208	1, 518	97. 9
合計	365	0	7, 529	5, 706	4, 171	17, 771	96. 4

地区別入所者及び待機者状況(令和 8 年 3 月 31 日時点) (単位: 人)

地区	入所者	待機者	地区	入所者	待機者
掛川市	46	72	御前崎市	0	2
菊川市	2	8	県外	0	1
磐田市	0	0	計	48	85
牧之原市	0	2			

年間入退所状況 (単位: 人)

月	入所者数	退所者数	月末在苑数	月	入所者数	退所者数	月末在苑数
4	2	0	48	10	2	3	48
5	2	1	50	11	1	0	50
6	0	0	50	12	0	3	45
7	1	2	48	1	2	3	44
8	1	0	50	2	3	2	46
9	0	0	49	3	3	1	48

2) 大東ショートステイサービス利用者延べ数月別報告 (定員 14 名)

(単位: 人)

月	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率(%)
4	5	8	48	109	107	37	18	332	79.0
5	5	6	41	73	141	60	21	347	79.9
6	5	7	39	70	129	49	20	319	76.0
7	3	5	42	41	134	44	16	285	65.7
8	0	9	61	48	141	30	22	311	71.7
9	0	9	47	44	133	43	21	297	70.7
10	0	7	45	50	157	66	6	331	76.3
11	0	9	53	46	139	46	6	299	71.2
12	0	12	58	39	145	63	8	325	74.9
1	0	11	76	37	122	55	8	309	71.2
2	0	7	48	59	86	61	8	269	68.6
3	0	11	66	43	78	77	9	284	65.4
合計	18	101	624	659	1,512	631	163	3,708	72.2

3) 大東デイサービスセンター利用者延べ数月別報告 (定員 55 名)

(単位: 人)

月	事業 対象	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率 (%)
4	0	17	74	435	284	268	49	26	1,153	80.6
5	0	18	74	467	275	308	43	27	1,212	81.6
6	0	17	57	451	246	296	49	26	1,142	83.1
7	0	14	62	455	243	331	49	30	1,184	79.7
8	0	12	46	453	222	336	57	29	1,155	80.8
9	0	12	52	437	225	333	59	28	1,146	80.1
10	0	15	48	451	234	292	56	18	1,114	75.0
11	0	11	36	424	196	254	44	17	982	71.4
12	0	8	43	443	189	270	51	17	1,021	74.3
1	0	11	39	397	213	233	42	16	951	72.0
2	0	11	40	348	189	198	48	12	846	64.1
3	0	12	42	384	223	184	54	0	899	62.9
合計	0	158	613	5,145	2,739	3,303	601	246	12,805	76.0

4) 大東ヘルパーステーション利用者延べ数月別報告 (介護保険ヘルパー)

(単位: 人)

月	事業対象	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4	4	0	25	102	86	99	8	13	337
5	5	0	25	100	99	116	16	17	378
6	4	0	13	101	98	116	17	15	364
7	4	0	9	84	101	133	17	32	380
8	6	0	14	67	86	123	16	45	357
9	6	0	21	54	87	144	28	58	398
10	9	0	24	60	91	137	40	62	423
11	9	0	19	60	101	130	35	55	409
12	4	4	24	65	95	113	28	53	386
1	5	7	22	57	91	112	28	60	382
2	4	8	16	52	100	108	20	59	367
3	4	8	16	71	112	121	22	65	419
合計	64	27	228	873	1,147	1,452	275	534	4,600

5) 障害福祉サービス事業利用者延べ数月別報告(障害者ヘルパー) (単位:人)

月	精神障害者	身体障害者	計
4	9	82	91
5	8	80	88
6	14	81	95
7	11	84	95
8	11	71	82
9	10	85	95
10	15	85	100
11	17	69	86
12	13	80	93
1	15	76	91
2	16	75	91
3	16	71	87
合計	155	939	1,094

6) 大東居宅介護支援事業所プラン作成実件数月別報告

(単位:件)

月	予防	要介護 1～2	要介護 3～5	予防 (0.5)		要介護計	総計	一人当た りの件数
4	40	152	78	20		230	250	30.3
5	39	147	78	19.5		225	244.5	30.6
6	39	150	82	19.5		232	251.5	31.4
7	36	154	80	18		234	252	31.5
8	36	150	81	18		231	249	31.1
9	37	156	81	18.5		237	255.5	31.9
10	36	151	82	18		233	251	31.4
11	36	157	84	18		241	259	32.4
12	38	156	86	19		242	261	32.6
1	41	156	84	20.5		240	260.5	32.6
2	40	155	80	20		235	255	31.9
3	38	157	70	19		227	246	30.8
合計	456	1,841	966	228		2,807	3,035	378.5

7) 南部大東地域包括支援センタープラン作成実件数月別報告

(単位:件)

月	包括直営		他事業所委託		計
	予防	総合事業	予防	総合事業	
4	6	17	61	19	103
5	6	17	59	20	102
6	7	18	57	21	103
7	7	17	54	21	99
8	6	19	56	19	100
9	6	19	58	21	104
10	6	22	54	22	104
11	6	22	55	23	106
12	6	22	57	20	105
1	7	20	55	22	104
2	7	21	55	24	107
3	7	22	54	21	104
合計	77	236	675	253	1,241

3 職員体制について

令和8年3月31日時点 人員体制

(単位：人)

	特養	ショート	デイ (一般型)	包括	ヘルパー	居宅	合計	内産休 休職
総計	38	9	28	4	7	8	94	
常勤	17	4	8	3	2	5	39	3
8時間非常勤 (再雇用者含)	8	1	3	1	3	3	19	1
短時間等	13	4	17	0	2	0	36	

4 活動・行事について

感染対策を徹底しながら、面会・外出・行事・ボランティア活動を継続して実施し、利用者が季節を感じられる機会や楽しめる活動を各事業所で展開した。大東苑では外出行事や季節の味覚提供、個別のお祝いなどを行い、ショートステイでは月2回以上の行事や家族参加の活動を取り入れた。デイサービスでは誕生会や敬老会、野菜栽培などを実施し、利用者の喜びにつながる取り組みを進めた。

1) 主な行事内容

月	大東苑	大東ショート	大東デイサービスセンター (毎月：体力測定、誕生会)
4	海までドライブ	さくらどら焼き作り、柚子風呂 お花見(つつじ)、イースターエッグ作り	お花見
5	新茶祭り	新茶をふるまう会、抹茶豆乳プリン作り お茶風呂、フラワーアレンジメント(カーネーション)	つつじ見学、夏花植え付け
6	スマイルショップ	糸巻きダービー、梅ジュース作り 鈴カステラ作り	じゃが芋収穫、さつま芋植え付け
7	七夕会	七夕飾りづくり、七夕会(星つりゲーム) ぼたもち作り、プリンデコレーション	七夕会・夏祭り
8	納涼祭	夏祭り(2回)	夏祭り
9	敬老会	敬老会、白玉団子作り	敬老会
10	秋の運動会	職員の結婚を祝う会、運動会(2回)	運動会
11	秋の遠足(花鳥園)	家族による歌謡ショー、プリンアラモード作りさ、つま いものおやき作り、焼き芋	
12	忘年会	クリスマスカード・年賀状作り、柚子風呂 クリスマス会・クリスマスケーキ作り	クリスマス会、忘年会
1	新年会 初詣	新年会(甘酒) 城下町駅伝の応援	新年会
2	節分会	節分会、ハンドマッサージ	節分会
3	ひな祭り会 お花見ドライブ	ひな祭り会(フルーチェ作り) お花見(苑のまわり)	ひな祭り会、じゃが芋植え付け

5 防災計画・安全管理等について

今年度は、火災・地震・土砂の避難誘導と点呼の訓練を繰り返し行い、職員への周知と定着に取り組んだ。訓練に参加した職員には、避難誘導と点呼方法を周知することができたが、訓練に参加できなかった職員への周知に課題が残った。来年度は、職員の全員参加を目標に訓練を実施していく。

また、業務継続訓練(BCP)については、各部署での「机上訓練」の実施と「実動訓練」として水を使用しない「排泄訓練」、非常食の炊き出し・配膳の「食事訓練」を行った。来年度は、施設全体での「BCPの実動訓練」を目指し、防災委員で計画・実施していく。

1) 防災訓練等

月	災害状況想定	訓練項目	訓練目的
4	火災(日中)	避難誘導訓練	火災発生時の基本的な避難誘導、及び職員連携と点呼方法について確認する。
5	火災(日中)	避難誘導訓練	火災発生時の基本的な避難誘導、及び職員連携と点呼方法について確認する。

		放水訓練【1回目】	消火栓・消火器のある場所、使用方法を知る。【1階】
6	火災(日中)	避難誘導訓練 【デイ合同】 【スロープ活用雨天中止】	基本的な避難訓練を全事業所職員の連携により実施する。 協力職員との連携について効率的な方法を確認する。
7	火災(夜間)	避難誘導訓練	夜間における人員体制での基本的な避難誘導、及び職員連携について確認する。
		通報訓練【1回目】	消防署への通報方法を学ぶ。
		BCP机上訓練	被災後3日経過した時を想定して、食事・排泄方法と課題について話し合う。
8	大雨・土砂(日中) デイ合同	避難誘導訓練	土砂災害について、適切な判断、対処につき確認する。
9	防災教育	防災研修 BCP研修【実動訓練】	防災機器説明、震災後の電気と水が使用できない状況での排泄介助について学ぶ。
10	大地震(日中)	業務継続訓練【中止】情報伝達訓練	災害後の業務継続訓練【備蓄、避難用品の確認】ビジエネを活用して、情報伝達訓練を行う。
11	地震・火災(日中)	総合防災訓練	社会福祉施設総合防災訓練
		通報訓練【2回目】	消防署への通報訓練
		放水訓練【2回目】	消火栓・消火器のある場所、使用方法を知る。【2階】
12	火災(日中)	避難誘導訓練	火災発生時の基本的な避難誘導、及び職員連携について確認する。
1	火災(夜間)	避難誘導訓練 【夜間想定】	夜間における人員体制での基本的な避難誘導、及び職員連携について確認する。
2	地震・火災(日中)	避難誘導訓練 【デイ合同】	基本的な避難訓練を全部署の職員の連携により実施する。 協力職員との連携について効率的な方法を確認する。
		情報伝達訓練	災害後に応援の可否を職員に対してビジエネで送信した。
3	防災教育	防災研修 BCP【机上訓練】 【実動訓練】	災害時の食事についてグループワークを実施。【机上訓練】 災害時の食事の準備・提供方法を学ぶ。【実動訓練】

6 ボランティアの状況について

実=実人数 延=累計延べ人数 団体（）=団体数												
月	4		5		6		7		8		9	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00
団体	0	0	1(2)	1(2)	2(43)	2(43)	1(4)	1(4)	2(37)	2(37)	2(7)	2(7)
月	10		11		12		1		2		3	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
団体	2(54)	2(54)	2(9)	2(9)	1(10)	6(40)	0	0	0	0	0	0

7 健康管理について

定期健康診断とインフルエンザワクチン接種を実施し、コロナ5類移行後も感染予防に努めた結果、特養内での集団感染は発生しなかった。衛生委員会では4S活動や危険箇所の確認を行い、指摘事項の改善につなげた。職員の腰痛予防として体操教室を3か所で実施し、ストレスチェックも継続して行ったところ、大きな変化はなく組織的な問題は見られなかった。今後も働きやすい職場環境づくりに取り組んでいく。

1) 主な健康診断

月	内 容	入所者・利用者	職 員
4～5	入所者定期健康診断	大東苑入所者	
6～7	職員定期健康診断、腰椎問診実施		全職員
6	4S活動		全事業所
9	安全衛生チェック		全事業所

9～10	入所者定期健康診断	大東苑入所者	
10～12	腰痛予防体操実施	大東苑入所者・利用者	全職員に呼びかけ
11	インフルエンザワクチン接種	大東苑入所者	希望者
	セルフ健康チェック 健康測定会実施	デイ・ショート利用者	希望者
	ストレスチェック実施		全職員
1	職員定期健康診断		夜勤従事職員
定期、随時	嘱託医回診・歯科検診	大東苑入所者	

8 定例会議等について

これまでの会議、委員会体制を継続した。委員会においては、研修やケアの質向上への取り組みについて協議され、施設運営上効果的な発信がされた。

1) 主な会議と委員会体制

区分	共通	大東苑・ショート	デイサービス	ヘルパー	居宅	包括
主な会議	(毎月) 経営調整会議 苦情処理委員会 QOL 委員会 衛生委員会 給食委員会 感染対策委員会 防災委員会 (随時) 交通安全委員会 地域交流委員会	(毎月) 特養会議 特養業務会議 身体拘束委員会 看取り委員会 事故対策委員会	(毎月) 大東デイミー ティン	(毎月) ヘルパー会議	(毎週) 特定事業 所会議	責任者会議 運営協議会 相談協力員懇話会 3 職種専門職会議 認知症施策会議 認知症連絡会 地域ケア会議 資質向上検討委員会 ふくしあ調整会議 ふくしあ連絡会議 ふくしあケース会議

9 主な職員研修について

勤務体制が不安定な状況もあり、積極的な研修（OFF-JT）への参加は進められなかった。階層別研修の実施については当初より検討していたが、効果的な取り組みには至らなかった。今後は、介護技術の段階的修得と併せて、体系化を進めていく。

1) 施設内研修

月	共通	大東苑・ショート	デイサービス	ヘルパー
4	虐待防止研修		送迎時の緊急対応	接遇・コミュニケーション力
5			介護技術の向上	
6		看取り研修「ACP 概論」 接遇向上・不適切ケア 身体拘束廃止	入浴介助	虐待防止
7	感染予防研修会 交通安全技能訓練	BCP 机上訓練(災害後の食事提供方法、排泄ケア方法)	緊急時対応	言葉遣い
8		排泄ケア研修	接遇、コミュニケーション力	支援時の時間超過
9		オンコールの使用方法 BCP 実動訓練「電気と水が使えない時の排泄介助」	介護職のメンタルヘルス	
10	QOL 研修(アンケート)	身体拘束廃止	倫理と法的義務	QOL・アンケート調査
11	虐待防止動画視聴		感染対策研修	虐待防止
12	感染対策研修会	身体拘束廃止「接遇マナー」 事故対策「事故を未然に防ぐには」	防災について・非常災害時の対応	中東遠職種別研究会の報告
1			介護保険制度の基本理解	緊急時の対応について
2		身体拘束廃止「不適切ケアを考える」 事故対策研修「事故発生後の対応」 虐待防止・身体拘束	認知症ケアの基本	
3	QOL 事例研究発表	BCP 机上訓練「災害時の食事」 BCP 実動訓練「災害時の食事準備・提供方法」 生産性向上委員会「ブロック体制のインカム使用方法とルール」 眠りスキャンの確認方法・ルール」	BCP 対応について	QOL の動画鑑賞

2) 外部研修

年月日	研修内容		職名	人数	主催者
令和7年5月8日 令和7年11月18日	回復期リハビリ・低栄養 etc	居宅	介護支援専門員	2	地域医療なんでも相談会
令和7年7月7日他	統合失調症、発達障害、パーソナリティ障害の方の支援	居宅	介護支援専門員	2	長寿社会開発センター
令和7年9月～11月	更新研修 B2	居宅	介護支援専門員	3	介護支援専門員協会
令和7年7月12日	家族介護について	居宅	介護支援専門員	1	訪問看護ステーション協議会
令和7年10月9日	メンタルヘルス対策 ストレスケアマネジメントの実践	居宅	介護支援専門員	2	長寿社会開発センター
令和7年10月25日	高齢者の意思決定支援について	居宅	介護支援専門員	1	かけふく看看ネットワーク
令和7年11月5日	慢性患者を多職種で支えるために	居宅	介護支援専門員	2	中東遠総合医療センター
令和7年11月28日	権利擁護研修	居宅	介護支援専門員	1	静岡県精神保健福祉士協会
令和7年7月31日	安全運転管理者 法定講習	ヘルパー	副主任	1	安全運転管理協会
令和7年11月19日	中東遠地区職種別研究会	ヘルパー	副主任	1	社会福祉法人 白寿会
令和7年6月26日	ディアコニアでの医療連携の今について	特養	施設長	1	中東遠地区特養施設長連絡会
令和7年7月4日	床ずれ対策の基本	特養	看護師	1	中東遠地区職種別研修会
令和7年7月4日	福祉施設の人材定着研修	特養	副施設長	1	静岡県社会福祉協議会
令和7年7月16日	お茶の簡単な知識	特養	栄養士	1	給食協会総会
令和7年7月29日 他	高齢者入所施設における感染リスクタッグ育成事業	特養	副主任 看護師	2	中東遠総合医療センター
令和7年7月31日	安全運転管理者 法定講習	特養	施設長	1	静岡県公安委員会
令和7年8月26日	カスタマーハラスメント	特養	事務職員	1	中東遠地区職種別研修会
令和7年9月3日	静岡県高齢者福祉研究大会	特養	施設長他	3	静岡県老人福祉施設協議会
令和7年9月19日	給食協会掛川支部栄養士研修会	特養	栄養士	1	静岡県給食協会掛川支部
令和7年9月26日	不調で不安な毎日からサヨナラして、笑顔で過ごす毎日へ	特養	主任	1	中東遠地区職種別研修会
令和7年10月23日	看護の質向上促進研修	特養	看護師	1	公益社団法人静岡県看護協会
令和7年10月29日	褥瘡予防対策とケアのコツ	特養	介護職員	1	三幸カレッジ
令和7年11月6日	実務者研修	特養	副施設長	1	福祉サービス運営適正化委員会
令和7年11月10日	苦情解決能力の向上を目指して	特養	栄養士	1	静岡県給食協会掛川支部
令和7年11月26日	給食協会調理技術研修会	特養	主任	1	中東遠地区職種別研修会
令和7年12月12日	災害時の対応策について	特養	ケアマネ	1	中東遠地区職種別研修会
令和8年1月21日他	適切なケアマネジメント手法について	特養	介護職員	1	静岡県社会福祉協議会
令和8年2月13日・2月15日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程・中堅職員コース	特養	ケアマネ	1	静岡県社会福祉士会
令和8年2月20日	社会福祉士実習指導者講習会	特養	ケアマネ	1	静岡県社会福祉協議会
令和8年3月19日	福祉のお仕事魅力発見セミナー講師会議	特養	ケアマネ	1	中東遠地区特養施設長連絡会
令和7年6月11日	地域・施設における災害対策(静岡DWAT活動より)	ショート	介護職員	1	中東遠地区職種別研究会
令和7年8月1日～	高齢者のフットケア	ショート	介護職員	1	三幸カレッジ
令和7年10月29日	実務者研修	ショート	介護職員	3	大東苑、衛生委員会
令和7年10月30日	腰痛予防体操	ショート	介護職員	4	浜北愛光園
令和8年2月	施設見学	ショート	介護職員	2	全国老施協
令和7年6月27日	虐待防止に向けての研修	デイ	介護職員	1	介護未来ナビゲーター事務局
令和7年10月16日	介護の未来ナビゲーター交付式	デイ	介護職員	1	介護未来ナビゲーター事務局
令和7年10月28日	出前講座聖隷クリストファー大学	デイ	介護職員	1	介護未来ナビゲーター事務局
令和7年10月29日	出前講座沼津市立沼津高校	デイ	介護職員	1	三幸福祉カレッジ
令和7年12月3日他	実務者研修	デイ	介護職員	1	三幸福祉カレッジ
令和7年9月3日	医療ケア	デイ	介護職員	1	静岡県老人福祉施設協議会
令和7年11月26日	静岡県高齢者福祉研究大会	デイ	副主任	1	CSW 研究会
令和7年12月14日	ベンチ置くだけプロジェクト	デイ		1	介護福祉4団体合同研修
令和8年2月8日	対人関係に効くストレスマネジメント～心の免疫力を高める基本の力～	デイ		1	CSW 研究会
令和7年7月12日	依存症(アディクション)事例検討会	包括	社会福祉士	1	小笠医師会
令和8年1月17日	研修・親睦会	包括	主任ケアマネ	1	健康福祉部福祉長寿政策課

10 給食業務について

食材費の高騰が続き、米値の上昇も深刻な問題となる中、10月より主食となるお米を地元業者で購入する運びとなり、地産地消の実現とともにおいしいお米を利用者へ提供できることとなった。

食材費の高騰が続いたことにより、毎日のおやつ提供を休止した。季節ごとの行事でのおやつ提供へ切替え、特別感、季節感を出せるよう工夫した。おやつの休止に伴い、摂取カロリー補填のため主食量(米)を増やした。地元産のお米(コシヒカリ、キヌムスメ)ということもあり、摂取状況は良好で目立った体重減少もなかった。

毎月給食会議を開催し、各部署間で情報共有や意見交換を行い、食事提供や献立内容の認識を統一した。昨年に引き続き残食や食材廃棄量の削減、SDGsへの取り組みを委託会社(シダックスフードサービス)と協力し行った。

行事食の実施状況

月	行事内容	月	行事内容
4	開苑記念日(30周年紅白饅頭)・パワーチャージフェア	10	ご当地ラーメンフェア
5	新茶祭り・韓国フェア	11	ご当地唐揚げフェア
6	シダックス料理コンテストフェア	12	クリスマスフェア
7	土用の丑・カレーフェア	1	元旦おせち・お正月甘酒・北陸応援フェア
8	納涼祭メニュー・タイフェア	2	節分・イタリアンフェア
9	敬老会・ご当地かつ井フェア	3	ひな祭り・お楽しみ会・東北応援フェア

11 地域との交流について

地域福祉交流会への講師参加や福祉懇談会での移送支援を行い、地域との連携を深めた。防災訓練には地元区長にも参加いただき、協力体制を強化した。明社協・日赤ボランティア・民生委員の皆様とは草刈りや窓掃除などの奉仕活動を実施し、夏祭りや遠足の付き添いにも協力を得た。また、ボランティアの方の色鉛筆画をロビーに展示し、来苑者に楽しんでいただいた。

今後も地域包括支援センターと連携し、地域交流を継続していく。

令和7年度 事業報告附属明細書 大東苑拠点区分

該当事項なし。

令和7年度 事業報告附属明細書 障害福祉拠点区分

該当事項なし。

令和7年度 くにやす苑拠点区分事業報告書

1 令和7年度の総括について

本年度は、「その人らしい日常生活の実現と安心・安全・安定した施設運営」を目標に事業運営を行った。

(1) 安心・安全の取り組み

面会について一定のルールを決めて対応し、令和6年度までは行えなかった居室面会を再開した。

年末年始の4日間については、ご家族にご理解を得て面会を休止し、1月から3月まで入所者のインフルエンザ、コロナウイルス感染者をゼロに抑えることができた。

入所者の健康を守ることが第一ではあるが、一方でその人らしい日常生活の実現という観点では、入所者及び家族の要望に応えることができず、今後の課題である。

(2) 安定した施設運営の取り組み

特 養：退所から入所までの事務を強化し、入所待機者の現況調査や障がい者施設に特養入所について説明に伺うなどにも取り組み、前年度の利用率を1.7%上回ることができた。

デイサービス：営業活動に力を入れ、前年度を3.2%上回る利用率とすることができた。

ショートステイ：利用率に合わせた人員配置を行い、夜勤や遅番については特養との5ユニット協力体制を継続し、遅番・夜勤対応職員の不足に対応した。

(3) 防災対策

令和6年に津波浸水のイエローゾーンに認定されたことから、防災マニュアルを見直し、津波避難は避難タワーへの避難を優先し、車両避難についてはどのような場合に車両避難を行うかを明確にした。また、マニュアルの改訂については研修動画を作成し、職員全員に周知した。津波対策については、来年度予算に施設移転に係るコンサルティング費用を組み入れ、一步一步確実に前に進めていく。

9月5日の台風15号では、内水氾濫により、施設の一部が浸水した。引き続き、浸水対策訓練を実施するとともに、職員一人一人が天気の状態により呼びかけあって対策を講じられる組織作りに努める。

(4) 事故防止

事故対策委員会を中心にヒヤリハットや事故の事例の分析を行い、職員に周知した。他部署の事例を周知することで、事故の抑制に繋がった。また、介護事故の研修を実施し介護職員全員が受講できた。

(5) 腰痛対策

介護ロボットの補助金を活用し、不具合が続いていた特浴室の寝位入浴装置の更新を行った。

(6) 人材育成

助成金を活用し、介護福祉士実務者研修を1名、喀痰吸引実務者研修を2名が受講した。

また、介護福祉士及び介護支援専門員の資格試験に1名ずつ合格することができ、介護支援専門員の実務者研修を2名が受講した。今後も施設の取り組みとして、キャリアアップを支援していく。

(特別養護老人ホームくにやす苑)

特養における個別ケア、ユニットケア推進の取り組みとして、本年度は排泄ケアの取り組みに重点を置き、おむつメーカーの協力を得て、尿量測定チェックや排泄後保清の取り組み、正しいおむつの当て方の講習などを通して、一人一人の排泄タイミングにあったおむつの選定、尿路感染の予防に取り組んだ。また、入居者の要望に応えた園芸の取り組みで収穫した野菜をユニットで調理した。また、おやつイベントや、週1回の体操やレクリエーションを実施し、楽しみのある生活となるよう努めた。

居室面会を再開したことで、施設内でクラスターが発生しないよう細やかな体調確認をした。普段と違う様子があれば看護師等多職種で連携し迅速に感染対応を行うとともに、些細なことでも変化があれば記録ソフトに入力することを日常とすることで、その場にはいない職員にも速やかに情報が共有でき、結果的に個別のケアの向上に繋げることができた。また、インスタグラムや家族連絡票を活用し、生活の様子を家族に発信する取り組みも継続した。

(くにやすショートステイサービス)

利用向上の取り組みとして、ケアマネ事業所への営業活動による新規利用者の獲得とともに、『また来たくなる』取り組みとしてレクリエーションに力を入れた。また、利用者のアクティビティを兼ねてショートステイ玄関の飾り付けや壁面の模様替えを、季節が感じられるよう毎月行うなど、利用者が心地よく過ごせる空間づくりに努めた。運営面では、特養3ユニットとの介護及び看護職員のシフト勤務応援体制を継続し、効率的な人員配置に努めた。

一人暮らしの利用者の体調不良等の緊急入所や担当医師との連携による、看取り期の入所受け入れを行い、特養入所までの安心、安全な生活場所としての役割も担うことができた。

（くにやすデイサービスセンター）

「おひとりおひとりに居心地のよいデイサービス作りを目指す」「その人らしさを大切にし、生活の質が高まるよう支援する」チームワークを大切にする」を目標に掲げ、サービスを提供した。

利用向上の取り組みとして、入所等で利用が無くなった枠について迅速に情報を提供するなど、ケアマネ事業所への営業に力を入れた。また、「興味チェックシート」を活用し、利用者一人一人の興味がある活動を調査し、日々の活動に継続反映させ、利用者ニーズに応じたサービス提供となるよう努めた。

機能訓練ニーズが高まる中で、作業療法士と看護師による機能訓練についても一人一人の個別目標を踏まえたきめ細やかな訓練を行うことができた。機能訓練の取り組みについて多職種で共有し、日常生活動作や他のアクティビティにもつなげることができた。あわせて、掛川市の委託事業である短期集中C型通所サービス事業も継続し、地域の介護予防の取り組みに貢献することができた一方で、作業療法士への負担が大きくなっている。短期集中C型通所サービスの在り方について市と協議していくことが今後の課題である。

2 利用動向について

1) 特別養護老人ホームくにやす苑入所者延べ人数月別報告（定員 80 名）（単位：人）

月	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率(%)
4	60	74	872	746	457	2, 209	92. 0
5	62	93	868	846	428	2, 297	92. 6
6	60	60	971	872	361	2, 324	96. 8
7	62	62	1, 085	868	395	2, 472	99. 7
8	62	62	1, 117	840	372	2, 453	98. 9
9	60	60	1, 082	726	390	2, 318	96. 6
10	62	62	1, 064	852	367	2, 407	97. 1
11	60	60	1, 012	842	308	2, 282	95. 1
12	62	62	1, 116	852	288	2, 380	96. 0
1	62	62	1, 188	780	321	2, 413	97. 3
2	56	56	1, 148	710	255	2, 225	99. 3
3	62	62	1, 271	800	248	2, 443	98. 5
合計	730	775	12, 794	9, 734	4, 190	28, 223	96. 7

地区別入所者及び待機者状況（R8. 3. 31 日時点）（単位：人）

市町等名	入所者数	待機者数	市町等名	入所者数	待機者数
掛川市	73	37	浜松市	0	1
菊川市	5	7	藤枝市	0	0
袋井市	0	1	静岡市	0	1
御前崎市	2	4	県外	0	0
牧之原市	0	1	その他	0	0
			計	80	52

年間入退所状況

（単位：人）

月	入所者数	退所者数	月末在苑数	月	入所者数	退所者数	月末在苑数
4	4	3	74	10	3	2	79
5	4	1	78	11	3	5	77
6	5	2	80	12	3	2	78
7	0	1	79	1	4	2	80
8	2	2	79	2	1	2	79
9	2	3	78	3	2	1	80

2)くによすショートステイサービス 延べ利用者数 月別報告 (定員 20 名)

(単位 : 人)

月	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率(%)
4	2	2	111	78	63	60	0	316	52.7
5	0	6	124	78	77	60	0	345	55.6
6	2	3	132	104	66	43	0	350	58.3
7	2	2	115	70	105	33	0	327	52.7
8	0	2	116	98	71	20	0	307	49.5
9	0	2	131	96	49	35	0	313	52.2
10	0	5	102	80	56	46	2	291	46.9
11	0	7	111	109	71	29	3	330	55.0
12	0	2	105	100	81	41	0	329	53.1
1	0	3	94	123	54	25	0	299	48.2
2	0	0	80	135	53	12	2	282	50.4
3	0	5	78	123	65	19	3	293	47.3
合計	6	39	1,299	1,194	811	423	10	3,782	51.8

3)くによすデイサービスセンター 延べ利用者数 月別報告 (定員 30 名)

(単位 : 人)

月	事業対象	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率(%)
4	8	4	18	216	214	100	65	6	631	80.9
5	9	5	19	216	220	87	78	9	643	79.4
6	8	9	16	216	194	63	63	7	576	76.8
7	12	8	15	229	160	62	62	8	556	68.6
8	9	10	19	219	188	60	67	7	579	74.2
9	9	8	18	210	186	66	63	9	569	72.9
10	4	10	20	229	167	68	83	6	587	72.5
11	0	8	17	195	184	84	76	9	573	76.4
12	0	8	17	230	184	72	75	19	605	77.6
1	0	8	20	190	183	75	67	19	562	78.1
2	0	8	19	193	157	71	72	22	542	75.3
3	0	8	16	235	197	86	54	16	612	78.5
合計	62	91	214	2,578	2,234	894	825	137	7,035	76.2

3 職員体制について

特養の各ユニットについては、常勤介護職員と 8 時間非常勤介護職員あわせて 4 名の体制を基本としたが、育児休業制度、養育両立支援制度対象職員が増えたことで、早番、遅番、夜勤ができる職員が減少し、正規職員の日勤帯勤務が減っている。早番や夜勤ができる職員の確保が今後の課題である。

1) 職員配置状況 (令和 8 年 3 月 31 日時点)

(単位 : 人)

	特養	ショート	デイ	合計	うち育休産休病欠
総計	67	8	16	91	2
正規職員	36	4	3	43	1
正規短時間職員	2	1	1	4	0
8 時間非常勤	7	1	4	12	1
短時間等	22(1)	2(1)	8(1)	32	0

※()内は派遣社員 宿直員 7 人を含む

資格 : 介護福祉士 57 人、社会福祉士 1 人、介護支援専門員 8 人、看護師 8 人、管理栄養士 2 人 作業療法士 2 人

4 活動・行事について

本年度もユニット単位で手作りおやつや餃子づくりなど入所者の希望に合わせた活動を行った。全体の活動としては、季節感のある行事の企画や栄養士の手作りおやつを提供する『喫茶ひまわり』の6年ぶりに再開したほか、レクリエーションや体操を行う『元気の会』を実施した。毎月の移動コンビニで買い物を楽しんでいただくほか、カタログ販売サービスの導入も行い、利用者の希望にできる限り応えられるようにした。

1) 主な行事内容

月	行事	内 容
4	お花見ドライブ	4/1～4/6をお花見週間とし、各ユニット参加できる入居者様とお花見ドライブに出かけ、暖かな春の雰囲気を楽しんでいた。いただいた。
5	手作りおはぎの会	柏の葉は入所者様数名と収穫し、おはぎを手作りし、柏の葉をお皿がわりにして新茶とともに振舞った。玄関ホールにて実施した。
7	気まぐれ喫茶ひまわり 梅ゼリー	中庭で収穫した梅を1年間じっくり熟成させて作った梅ジュースを使い、爽やかな香りひろがる梅ゼリーを作り、入所者様に振舞った。
12	オータムフェスタ 2025 ～開園記念～	各フロアから委員を出し準備を行い、感染対策として密にならないよう配慮して対応することができた。
1	新年書道の会	希望の入所者様に交流ホールにて自由に書道を楽しんでいた。書き終えたあとは甘酒を振舞い利用者様同士が和やかに交流する時間となった。
2	豆まき会 河津桜お花見ドライブ	玄関前にて職員が鬼の恰好で登場し、入所者様に「鬼は外、福は内」と掛け声をかけながら豆まきを行っていた。各ユニット希望者とお花見ドライブに出かけ、満開の桜を車窓から楽しんでいた。
毎月	移動コンビニ	毎月第2木曜日に、とすとす号の移動コンビニに来てもらい、入所者様に買い物を楽しんで頂いた。
随時	各ユニットイベント	各ユニットでおやつ作りやお楽しみ会等企画し、入居者様に楽しんでいただける時間を設けた。
随時	元気の会	開催時間を水曜日午後2時から、地域交流ホールいや各フロアに集まり実施リハビリ体操・歌・ゲーム等を実施した。恒例の行事となり、職員も交替で参加できた。

5 防災訓練について

下記の表のとおり毎月、防災訓練を実施した。7月30日に起きたカムチャツカ沖を震源域とする地震の影響で、津波警報が発令された時には、大東苑に入所者及び居宅サービスの利用者を車両で避難させた。日頃の避難訓練の成果により、大きな混乱なく避難ができた。避難には1.5時間を要した。11月の総合防災訓練で、避難タワーへの避難訓練を全部署合同で実施し、避難時間や避難状況について確認した。

南海トラフ沖地震の津波の想定到達時間は発災後20分とされていることから、津波の避難マニュアルを見直し避難施設への車両避難を優先するマニュアルから、避難タワーへの垂直避難を優先するマニュアルに改訂した。新しい津波避難マニュアルについては3月の防災研修で全職員に周知した。

1) 防災訓練実施状況

月日	訓練種別	目的・内容
5.22	地震、津波避難訓練（デイサービス）	避難車両の活用訓練
5.9	地震、津波避難訓練（花・森）	避難車両の活用訓練
5.22	地震、津波避難訓練（海・そら・風）	避難車両の活用訓練
5.26	地震、津波避難訓練（大地・月・太陽）	避難車両の活用訓練
5.30	地震、津波避難訓練（ショートステイ）	避難車両の活用訓練
6.6	浸水想定対応訓練（森・花）	水中ポンプ設置訓練
6.17	浸水想定対応訓練（海・そら・風）	水中ポンプ設置訓練
6.27	浸水想定対応訓練（大地・月・太陽）	水中ポンプ設置訓練
6.27	浸水想定対応訓練（ショートステイ）	水中ポンプ設置訓練

各会議時	ユニット会議で実施（特養・ショートステイ）風水害対応訓練	机上訓練 ～台風で停電が発生した際の対応について～ シミュレーション
7.16	消火器訓練（特養）	水消火器を使用した放水訓練と消火栓の使用説明
7.16	情報伝達訓練（全部署）	ビジエネ連絡網一斉メール伝達訓練、アンケート実施
8.14	風水害訓練（花・森）	風水害対応二階避難訓練
8.17	風水害訓練（海・そら・風）	風水害対応二階避難訓練
8.17	風水害訓練（大地・月・太陽）	風水害対応二階避難訓練
8.22	風水害訓練（ショートステイ）	風水害対応二階避難訓練
9.3	総合防災訓練（全部署）	テント設営等、総合防災訓練、水中ポンプ設置訓練、防災用品の準備・使用と点検、大東苑防災倉庫の清掃・防災用品の入れ替え
9.23	地震津波避難訓練（デイサービス）	避難車両の活用訓練
10.17	地震津波避難訓練（海そら風）	避難等活用訓練
10.24	夜間津波避難訓練（大地・月・太陽）	避難塔活用訓練
10.24	地震津波避難訓練（ショートステイ）	避難塔活用訓練
10.30	地震津波避難訓練（花・森）	避難塔活用訓練
11.14	総合防災訓練	津波避難訓練導 避難塔活用訓練（全体）
12.4	総合防災訓練	火災時の対応と避難誘導訓練 ハマビ立ち合い
2.7	夜間火災想定時対応訓練（森・花）	夜間警報作動時通報と非火災時の復旧
2.13	夜間火災想定時対応訓練（海・そら・風）	夜間警報作動時通報と非火災時の復旧
2.20	夜間火災想定時対応訓練（大地・月・太陽）	夜間警報作動時通報と非火災時の復旧
2.26	夜間火災想定時対応訓練（ショートステイ）	夜間警報作動時通報と非火災時の復旧
3.25	津波避難訓練（特養全フロア）	避難車両運転、大東苑備蓄倉庫の点検、大東苑とのマニュアルの共有
3.30	火災想定時対応訓練（デイサービス）	警報装置他、消防設備操作及び消化手順の確認

6 ボランティアの状況について

中学生の職場体験学習、高校生の職業体験、大学生の介護体験等事業の受け入れ、草刈り、窓掃除など、日本赤十字奉仕団等の各ボランティアに来ていただくことができた。

（単位：人）

月	4		5		6		7		8		9	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
団体	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	12(2)	12(2)	3(1)	15(3)	13(1)	28(4)	0(0)	28(4)
月	10		11		12		1		2		3	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
団体	24(1)	52(5)	30(2)	82(7)	9(1)	91(8)	0(0)	91(8)	0(0)	91(8)	0(0)	91(8)

実＝実人数 延＝延べ人数 団体（ ）＝団体数 注）草刈り除く

7 健康管理について

入所者の健康管理については、菅沼和人医師（嘱託医）の指示の下に、定期的な健康診断や希望者への各種予防接種等について計画的に実施することができた。また、職員の健康管理については、笠南医療センターの集団検診の他、法人が行う人間ドック等の外部検診への助成制度を周知し、職員の健康維持が図られるよう取り組んだ。要再検・要治療の指摘者については、受診を勧め、日常からの健康管理を呼び掛けた。

1) 入所者の健康管理について

①胸部レントゲン

令和7年4月に実施(年1回)

②採血

令和7年4月・令和7年10月に実施(年2回)

③歯科検診

令和7年1回5名程度 1年かけて実施

- ④インフルエンザ予防接種 令和7年11月3回に分けて実施（希望者）
 ⑤肺炎球菌ワクチン接種 令和7年9月実施（希望者）
 ⑥新型コロナウイルスワクチン接種 令和7年11月に実施（希望者）

2) 日常検診

- 体温測定 週3回測定及び体調により随時
 ○血圧・脈拍測定 1週間に2回及び体調により随時
 ○体重測定 月1回実施

3) 回診

嘱託医：菅沼和人医師：第1・3火曜と毎週木13：30からの回診
 ※ 訪問歯科診療・口腔ケア：1カ月に2回実施（牧野歯科医院大坂診療所）

4) 職員の健康管理

令和7年6月健康診断（全職員対象）実施
 令和7年11月、12月 インフルエンザ予防接種（希望職員）3回に分けて実施
 令和7年1月 夜勤従事者対象健康診断 実施

5) 機能訓練について

重度化が進む中、本人と家族の意向を踏まえ、状態に合わせた個別機能訓練計画書を作成し、機能訓練を実施した。

6) 口腔機能について

牧野歯科による口腔ケア指導については、介護職と連携し実施した。

8 定例会議について

定例会議等については、毎月第3金曜日を会議の日とし、各種会議を集中して行う体制とした。また、会議時間の短縮のため、資料の事前配布を徹底した。

1) 主な会議と委員会体制

会議名	開催時期	委員会名	開催時期
代表者会議	月1回 第3金曜日	苦情処理委員会	月1回 第3金曜日
デイサービス会議	月1回	防災委員会	月1回 第3金曜日
ショートステイ会議	月1回	衛生委員会	月1回 第3金曜日
給食会議	月1回 第3金曜日	感染対策委員会	月1回 第3金曜日
特養リーダー会議	月1回 第3金曜日	事故対策委員会	3か月に月1回 第3金曜日
ユニット会議	月1回（ユニット毎）	身体拘束廃止委員会	3か月に月1回 第3金曜日
給食会議	月1回 第3金曜日	イベント委員会	随時
医療的ケア対策会議	随時	地域活動・広報編集委員会	随時
サービス担当者・看取り会議	随時	生産性向上委員会	月1回 第3金曜日
		交通安全委員会	年4回（春夏秋冬）

9 主な職員研修について

外部研修については、リモート研修の活用により、職員の負担及び経費を削減することができた。また、内部研修については、日本福祉大学オンデマンド研修を契約し、動画研修を中心に実施した。

1) 外部研修実績

月 日	研 修 名	部署	職種	人数	主催者
令和7年5月23日	中東遠地区職種別研究会（給食）	特養	栄養士	1	中東遠地区特養施設長連絡会
令和7年5月29日	衛生講習会	特養	栄養士	1	静岡県給食協会掛川支部
令和7年6月11日	中東遠地区職種別研究会（ショート）フットケア講座	ショート	介護職員	1	中東遠地区特養施設長連絡会

令和7年7月2日	実務者研修 (WEB 学習+通学7日)	特養	介護職員	1	三幸福祉カレッジ
令和7年7月4日	中東遠地区職種別研究会 (医務) 床ずれ対策の基本	特養	看護師	1	中東遠地区特養施設長連絡会
令和7年7月8日	接遇マナー研修会	特養	介護職員	2	静岡県老人福祉施設協議会
令和7年8月4日	人材育成研修		副施設長	1	静岡県老人福祉施設協議会
令和7年8月17日	喀痰吸引研修 (全9日+実地)	特養	介護職員	2	磐田市立総合病院
令和7年8月25日	看護の質向上促進研修	特養	看護師	1	静岡県看護協会
令和7年8月26日	中東遠地区職種別研究会 (事務) カスタマーハラスメント	特養	副主任	1	中東遠地区特養施設長連絡会
令和7年9月9日	栄養士研修会	特養	栄養士	1	静岡県給食協会磐田支部
令和7年9月24日	令和7年度 安全運転管理者等講習		安全運転管理者	1	静岡県安全運転管理協会
令和7年9月26日	中東遠地区職種別研究会 (介護) 腰痛改善・予防	特養	副主任	1	中東遠地区特養施設長連絡会
令和7年10月15日	災害派遣福祉チーム静岡 DWAT スキルアップ研修会		防火管理者	1	静岡県社会福祉協議会
令和7年10月21日	感染症予防対策研修会	特養	感染委員	1	静岡県西部保健所
令和7年10月22日	看護の質向上研修	特養	看護師	1	静岡県看護協会
令和7年11月7日	調理技術研修会	特養	栄養士	1	静岡県給食協会
令和7年11月13日	防災訓練参加		防災管理者他	3	県老人福祉施設協議会西部支部
令和7年11月27日	掛川市高齢者虐待研修会	特養	生活相談員	1	掛川市役所長寿推進課
令和7年12月3日	安全運転管理者等講習		副安全運転管理者	1	静岡県安全運転管理協会
令和7年12月5日	施設間交流研修	特養	ユニットリーダー	1	静岡県老人福祉施設協議会
令和7年12月11日	介護支援専門員実務研修 (全9日)	ショート	ユニットリーダー	1	静岡県介護支援専門員協会
令和7年12月11日	介護支援専門員再研修 (全6日)	特養	副主任	1	静岡県介護支援専門員協会
令和7年12月19日	老人福祉部合同感染対策研修会	全部署	多職種	11	大東福祉会老人福祉部
令和8年1月28日	中東遠地区職種別研究会 (相談員)	特養	生活相談員	1	中東遠地区特養施設長連絡会
令和8年2月18日	中東遠地区職種別研究会 (中間管理職)	特養	主任	1	中東遠地区特養施設長連絡会
令和8年2月26日	災害時避難所運営研修会		管理者、副主任	3	小笠医師会
令和8年3月3日	入職者のための合同研修会		副施設長	1	静岡県社会福祉協議会

2) 施設内研修実績

月 日	研 修 名	部署	職種	人数
令和7年6月26日	令和7年度第1回 身体拘束及び虐待防止研修 日本福祉大学オンデマンド	全部署	全職種	53
令和7年7月9日	老人福祉部合同感染予防研修 嘔吐処理訓練	全部署	全職種	10
令和7年7月20日	令和7年度第1回 防災研修 机上訓練 風水害時の対応シミュレーション	特養	介護職員	24
令和7年10月16日	尿路感染予防研修	特養・ショート	多職種	12
令和7年10月18日	交通安全研修 DVD視聴『ヒヤリハットの教訓』	全部署	全職種	71
令和7年12月10日	セキュリティ研修 (大東福祉会)		副主任以上	7
令和7年12月15日	令和7年度第1回 事故対策研修	全部署	全職種	75

	『リスクマネジメント・危険予知トレーニング』			
令和8年1月12日	喀痰吸引フォローアップ研修	特養・ショート	介護職員	21
令和8年1月20日	令和7年度第2回 身体拘束及び虐待防止研修 日本福祉大学オンデマンド	全部署	全職種	72
令和8年1月28日	令和7年度 看取りケア研修 日本福祉大学オンデマンド	特養・ショート	全職種	60
令和8年3月4日	令和7年度第2回 事故対策研修 『介護事故発生防止に関するリスクマネジメント』	全部署	全職種	73
令和8年3月20日	令和7年度第2回 防災研修 『津波発生時の対応マニュアル 動画視聴』	全部署	全職種	66

10 給食業務について

昨年度プロポーサルにて再契約を決定したシダックスフードサービスへの給食業務の委託が4年目となり、安定した食事提供となるよう協力して給食業務に取り組むことができた。

昨年の猛暑の影響で、全国的なコメの不作により米の値上がりにより、食材費の大幅な値上げの提案があったが、協議を重ねた結果、他の施設との共同購入により大東農産から市価より安く米を調達することになり、シダックスの食材費はコメ分を除くことになった。今後も人件費上昇への対応や物価高騰による食材費の値上がり等への対応が課題である。

給食設備については、開苑から20年が経過して、機器の不具合も生じやすくなっている。給食の安定供給のために厨房ドックによる定期的な点検を行い、不具合や異常の早期発見に努め、必要な修繕を行った。

1) 行事食の実施状況

月	行事内容	月	行事内容
4	菜の花メニュー、大阪風カレー、北海道味噌ラーメン	10	秋のほっこり献立（南瓜コロッケ、まろやか豆乳担々麺、名古屋和風豚骨ラーメン）、ハロウィン献立
5	かしわ天すだちそば、韓国料理フェア、手作りおやつ（おはぎ）	11	全国ご当地うま味旅献立（鹿児島ごま唐揚げ、蔵王クリームコロッケ、横浜家系ラーメン、静岡わさび唐揚げ）
6	初夏の献立（梅たぬきそば、アジの生姜レモン焼き）、桜えびコロッケ、味噌汁紀行	12	開苑記念献立（赤飯・紅白饅頭）、クリスマス、献立、年越しそば
7	七夕献立、うなちらし、北海道コーンコロッケ、手作りおやつ（梅ゼリー）	1	正月三が日、七草粥、甘酒
8	夏季のさっぱり献立（あじのレモン南蛮、しほ責けおろしハンバーグ）エスニック風献立（鶏肉のアラビータ風、ガイヤーン）	2	節分献立、バレンタイン、冬の洋食ごちそう献立（ハケ岳グラタンコロッケ、ミラノ風チキンカツ、豚肉のスカロッピーネ）、おやつの日（フルーツサンド）
9	敬老祝い膳、秋の味覚	3	ひな祭り、お彼岸（おはぎ）、

2) 衛生管理

検便（栄養士毎月、職員年2回）、厨房内の消毒、殺虫駆除（6月・11月）を実施し、衛生管理に努めた。

3) 栄養マネジメント

栄養マネジメントは、入所者の栄養向上のために昨年同様、他職種の協力を得て取り組んだ。

11 地域との交流について

地元ボランティアによる草刈りや日本赤十字奉仕団による絵画展示、ちはまこども園とデイサービス利用者との交流事業、全国交通安全運動の期間には交差点での交通安全街頭指導をおこなった。秋祭りには施設ロビーで国安地区のお囃子が披露され、入所、通所の利用者のほとんどが鑑賞することができた。また、本部が実施している小中学校等での福祉教育に職員を派遣し、地域の福祉教育に貢献できた。

地域交流の様子については、インスタグラム等を活用し、随時情報発信を行った。

令和7年度 事業報告附属明細書 くにやす苑拠点区分

該当事項なし。

令和7年度 小笠老人ホーム拠点区分 事業報告書

1 令和7年度の総括について

入所者の意思及び人格を尊重し、生活の質の向上と自立につなげる支援を目指し、3つの重点目標に取り組んだ。

- (1) あたたかい人間関係をつくり、健康を保ち、いつも笑顔のある生活が送れること。
 - ・入所者間それぞれの声にきちんと耳を傾け、関係性を阻害することなく、お互いが気持ちよく過ごせることを基本とし丁寧に関わった。
 - ・健康的な生活習慣が広く定着するよう、日課の励行、行事・クラブ活動への参加勧誘、個別な健康・栄養指導、感染予防に向けた注意喚起等について継続的に取り組んだ。
 - ・入所者の方が普段より取り組んでいる施設の営繕作業、清掃作業、畑作業その他協力に対して、その都度感謝の言葉を伝える等嬉しい言葉かけを心掛けた。
- (2) 一人一人が生きがいをもった生活が送れること。
 - ・入所者が個人的に希望することに対しては、保証人を含めて調整を行い、可能な限り意向に応じた対応を心掛けた。
 - ・安心できる環境を目指し、事故等に繋がりやすい施設設備を見直し、改修・修繕を進めた。
- (3) 一人一人が自立した日常生活を営み、社会活動に参加できること。
 - ・入所者一人一人を「自立した人」として関わることを自立支援の基本姿勢とし、本人の意向を踏まえた処遇の実践を目指した。
 - ・職員会議での協議項目に、利用者からの意見について協議する項目を加え、入所者の声からも施設運営を見直す仕組みとした。
 - ・生活上のきまり、施設の取り組み等の変更等に際しては、わかば会等を通じて、可能な限り入所者に説明、報告し、相互的な関係であることを重視した。
- (4) 各取り組みの効果及び評価

自立支援の捉え方が不明瞭であり、支援の方向性や具体的な取り組みを定めていくことが難しかった。具体的に伝えられる、入所者の声には大切に向き合った。事業所よりの一方的な物言いにならないよう、理由・根拠を説明し、相互的な姿勢を基本とした。「わかば会」という場を、全体で施設での生活を考える機会として重視した。入所者同志で話し合うことも提案し、その場を設けたが、前向きな話し合いとなっていくには、引き続き、粘り強い取り組みが必要である。

毎年度取り組んでいる入所者への満足度調査は内容を見直し実施した。施設での生活に関する満足度は87.5%という結果となっている。設備面や、行事・活動内容に課題が浮かび上がるも、個別志向、施設設備の事情により対処が困難な状況もある。これも、粘り強く、前向きに取り組む続けることが肝要である。

2 利用動向について

令和7年度は、新規入所者8人、退所者7人であり、平均入所者数は41.1人となる。春から夏にかけて入所者が続いた。同時期には入所に関する問い合わせも多く、市の広報による周知等が影響していることが考えられる。退所者については、介護福祉施設等へ移られる方が主である。高齢者が利用される施設である以上、介護が必要な状態に応じ、適切な環境への移行は引き続き調整していくことになる。

1) 入退所者状況 定員 50 名 * 退所理由 入院 1 名、在宅復帰 1 名、他施設 4 名、死亡 1 名

月	入 所			退 所			入所者数 (月末)			利用率 (%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
4	1	0	1	0	0	0	21	18	39	78.0
5	1	0	1	0	0	0	22	18	40	80.0
6	1	1	2	0	1	1	23	18	41	82.0
7	1	0	1	0	0	0	24	18	42	84.0
8	1	0	1	0	1	1	25	17	42	84.0
9	0	0	0	0	0	0	25	17	42	84.0
10	0	0	0	0	0	0	25	17	42	84.0

11	0	1	1	0	0	0	25	18	43	86.0
12	0	0	0	1	0	1	24	18	42	84.0
1	0	1	1	2	0	2	22	19	41	82.0
2	0	0	0	1	0	1	21	19	40	80.0
3	0	0	0	1	0	1	20	19	39	78.0
計	5	3	8	5	2	7	23	18	41	82.0

2) 地区別入所者状況

(令和8年3月末現在)

市 名	男	女	計	比 率 (%)
掛川市	14	13	27	69.2
菊川市	5	3	8	20.5
磐田市	1	1	2	5.1
森 町	0	2	2	5.1
計	20	19	39	

3) 介護認定の状況

(令和8年3月末現在)

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	1	0	2	2	1	0	0	6
女	0	0	1	2	1	1	0	5
計	1	0	3	4	2	1	0	11

4) 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳の交付状況

(令和8年3月末現在)

手帳区分	内 容	男	女	計
身体障害者	視覚障害	0	1	1
	聴覚言語障害	0	3	3
	肢体不自由	1	1	2
	内部障害	1	0	1
療 育	療育A	0	0	0
	療育B	2	0	2
精神障害者		3	0	3
計		7	5	12

5) 短期入所利用状況

項 目	令和7年度	令和6年度
利用者数	6名	7名
利用日数	43日	45日

3 職員体制について

(令和8年3月末現在)

	施設長	相談員	支援員	事務員	看護職	栄養士	夜勤 支援員	宿直員	合計
総 計	1	2	4	1	1	1	3	6	19
正規職員	1	2	2	1	1	1	0	0	8
非常勤職員	フルタイム	0	0	2	0	0	0	0	2
	短時間	0	0	0	0	0	3	6	9

4 活動・行事について

入所者の意向を踏まえながら、例年恒例の活動・行事をほぼ予定通りに行うことができた。入所者よりの、希望・要望に関しては、毎月開催される「わかば会役員会」、「わかば会全体会」において確認している。協議、相談の上、活動・行事の見直しを都度行った。参加状況に偏りがあるため、参加したい、参加しやすい活動に向け検討が必要である。

月	行 事	月	行 事
4 月	お花見ドライブ	10 月	地元祭典、おやつ作り、大東寄席
5 月	おやつ作り、外食ツアー	11 月	外食ツアー
6 月	いきいき交流会	12 月	忘年会
7 月	七夕飾り、盆供養、おやつ作り	1 月	新年祝賀式
8 月	外食ツアー	2 月	節分、カラオケ大会、外食テイクアウト
9 月	彼岸供養、敬老会	3 月	彼岸供養、おやつ作り
毎月 実施	誕生会、ショッピング（隔週水曜日）、コーヒー喫茶/かき氷喫茶（2回/月） クラブ活動【体操クラブ、ふれあいクラブ、生花クラブ、手芸クラブ】		

5 防災訓練について

職員が少ない日直及び夜勤体制下での火災発生を想定した避難訓練を重点的に実施した。入所者の高齢化に伴い、歩行器や車椅子を利用される方が増えている。そのため、全員が安全にかつ確実に避難できることを目指し、少ない職員人数でどのように判断し、行動することが適切であるのか、訓練の都度課題を確認した。また、避難場所が複数あり、避難先に戸惑うことが課題とされていたが、避難場所を固定し訓練を繰り返してきたことで、スムーズな避難が少しずつ定着してきている。さらに、地震発生を想定し、本部及び各編成班の機能が効果的に発揮されることを目的とした訓練を実施した。

月	訓練種別	目的・内容
4 月	避難誘導訓練 消火栓放水訓練	日直体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、消火栓の正しい使用方法の確認も行った。
5 月	情報伝達訓練	各職員へ電話による情報伝達訓練を行った。
	避難誘導訓練 消火栓放水訓練	日直体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、消火栓の正しい使用方法の確認も行った。
	夜勤職員防災設備の点検	夜勤職員が防災器具の設置状況を確認した。
6 月	避難誘導訓練	夜勤体制下における火災発生を想定し、消火活動・避難誘導訓練を実施した。夜勤支援員及び管理人も全員参加し、火災発生時の対応を確認した。
7 月	避難誘導訓練	日勤体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。
8 月	土砂災害、 風水害訓練	土砂災害及び風水害時に職員が円滑かつ迅速な対応ができ、利用者の安全確保を目的に行った。あわせてストレッチャーや担架での搬送訓練を行った。
9 月	地震総合防災訓練	南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が発せられたと想定し、災害応急対策訓練を実施した。本部立ち上げ訓練を併せて実施した。
10 月	避難誘導訓練 (夜間)	夜間帯での避難訓練を実施することで、少ない職員体制での動きの基本を確認し、入所者の安全を確保することを目的に行った。
11 月	避難誘導訓練 非常通報装置訓練	日直体制下の火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、実際に消防署に火災の通報をし、消防署からの返信に応える訓練も実施した。
12 月	地域防災訓練	非常災害時に地域住民、消防関係者等との円滑な連携が図られるよう、地域住民が参加する避難訓練を実施し、防災意識を高め非常時における迅速かつ効果的な対応が可能となることを目的とする。
1 月	避難誘導訓練	日勤体制下での地震発生を想定し避難誘導訓練を実施した。入所者の安全を確保することを目的に行った。
2 月	避難誘導訓練	日直体制下における地震発生を想定し避難誘導訓練を実施した。少ない人数での対応訓練とし入所者の安全確保を図った。
3 月	避難誘導訓練	日勤体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。

6 ボランティアの状況について

清掃活動や、週末のお楽しみ活動等、定期的に来園されるボランティアグループ、毎年恒例の地域交流活動、草刈り作業等に協力いただくボランティアグループが主となる。

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
団体	6 (1)	6 (1)	1 (1)	7 (2)	17 (3)	24 (5)	5 (1)	29 (6)	6 (1)	35 (7)	8 (2)	43 (9)
月	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
団体	30 (3)	73 (12)	8 (2)	81 (14)	29 (3)	110 (17)	4 (1)	114 (18)	6 (1)	120 (19)	6 (2)	126 (21)

実=実人数 延=延べ人数 団体 0 =団体数

7 衛生管理について

入所者へは年2回の定期健康診断を実施した。今年から带状疱疹ワクチン予防接種も追加となり、希望者にはインフルエンザ他の予防接種も含め接種を実施した。職員へは年1回の定期健康診断、ストレスチェックを実施した。引き続き働きやすい職場を目指し、具体的な課題を把握し取り組んでいく。令和7年度は流行性の感染症は流行らなかったが、12月と3月に風邪症状の入所者が多数みられた。風邪症状から肺炎で12月に1名、3月に1名の入所者が入院された。各入所者の生活状況に応じた感染対策方法や周知の仕方など、効果的な感染拡大防止策は課題である。

月	内 容	入所者	職 員
6月	带状疱疹ワクチン予防接種	対象入所者	
6月～7月	定期健康診断（職員）		全職員
8月	定期健康診断（入所者）	全入所者	
9月	肺炎球菌ワクチン予防接種	対象入所者	
11月	インフルエンザ予防接種	全入所者	
12月	新型コロナワクチン予防接種	希望者	
	ストレスチェック		全職員
2月	定期健康診断（入所者）	全入所者	
毎月	嘱託医回診・通院、歯科検診	入所者	

8 定例会議について

会議内容、委員会体制の見直しに取り組んだ。会議相互間で重複して協議していた内容の整理、会議資料の事前配布等、効率的な実施を目指した。職員会議において、入所者の意見を協議する項目を固定し、常に入所者を意識した会議の実施を目指した。委員会については、必要とされる委員会、研修会の頻度や内容に応じて、開催スケジュールを全体的に整え計画した。参加メンバーについても偏ることなくそれぞれが参加できることとした。年度途中からの見直しとなり、今後より適切な体制を目指していくこととなる。

会 議 名	開 催 時 期	会 議 名	開 催 時 期
職員会議	月1回	事故防止委員会	年4回
ケア部会	月1回	感染対策委員会	年4回
調理部会	月1回	身体拘束適正化委員会、虐待防止検討委員会	年4回
わかば会（入所者）	月1回	組合連絡会	月1回
わかば会役員会	月1回	組合議会・監査	年各2回

9 職員研修について

法定研修会では、新たに作成した指針、マニュアルの周知を主に行った。中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会において、毎年度各専門職の研修会が準備され開催されている。同じ養護老人ホーム間での貴重な情報交換の場であり積極的に参加している。反省として、各専門職、各職員の課題等に応じた、よりテーマを絞った研修を進めることが十分にできなかった。目的、課題を明確にし、職員のスキルアップを目指し計画的な研修実施を進めていかなければならない。

1) 外部研修実績

年月日	研修内容	職種	人数	主催者
令和7年6月16日	衛生推進者養成講座	施設長	1	静岡県労働基準協会
令和7年6月20日	掛川市・袋井市地域感染リンクスタッフ研修	支援員	1	中東遠総合医療センター
令和7年7月7日	掛川市・袋井市地域感染リンクスタッフ研修	支援員	1	中東遠総合医療センター
令和7年7月16日	令和7年度見学研修会	栄養士	1	給食協会掛川支部
令和7年7月29日	掛川市・袋井市地域感染リンクスタッフ研修	支援員	1	中東遠総合医療センター
令和7年8月12日	掛川市・袋井市地域感染リンクスタッフ研修	支援員	1	中東遠総合医療センター
令和7年8月22日	中部地区公立養護老人ホーム事務職員研修会	施設長	1	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会
令和7年9月3日	静岡県高齢者福祉研究会	相談員	1	静岡県老人福祉施設協議会
令和7年9月11日	掛川市・袋井市地域感染リンクスタッフ研修	支援員	1	中東遠総合医療センター
令和7年9月19日	令和7年度栄養士研修会	栄養士	1	給食協会掛川支部
令和7年10月7日	掛川市・袋井市地域感染リンクスタッフ研修	支援員	1	中東遠総合医療センター
令和7年10月23日	中部地区公立養護老人ホーム施設長・相談員研修会	施設長	1	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会
		主任相談員	1	
令和7年11月11日	中部地区公立養護老人ホーム支援員研修会	主任支援員	1	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会
令和7年11月11日	掛川市・袋井市地域感染リンクスタッフ研修	支援員	1	中東遠総合医療センター
令和7年11月13日	掛川市・袋井市地域感染リンクスタッフ研修	支援員	1	中東遠総合医療センター
令和7年11月10日	令和7年度調理技術研修会	栄養士	1	給食協会掛川支部
令和7年12月12日	掛川市・袋井市地域感染リンクスタッフ研修	支援員	1	中東遠総合医療センター
令和7年12月19日	大東福祉会老人福祉部合同感染対策研修会	支援員	1	中東遠総合医療センター
令和8年1月12日	掛川市・袋井市地域感染リンクスタッフ研修	支援員	1	中東遠総合医療センター
令和8年2月12日	掛川市・袋井市地域感染リンクスタッフ研修	支援員	1	中東遠総合医療センター
令和8年3月12日	掛川市・袋井市地域感染リンクスタッフ研修	支援員	1	中東遠総合医療センター

2) 施設内研修実績

月	研修内容
8月	感染症予防研修/衛生の標準予防策について
9月	事故防止のための研修/「事故発生防止のための指針」の周知、「事故対応マニュアル」の見直し、他
10月	感染症の予防及びまん延防止のための研修/「感染症の予防及びまん延防止のための指針」及び「感染症対策マニュアル」の周知について
12月	虐待防止研修/「虐待防止のための指針」の周知について 身体拘束適正化のための研修/「身体拘束等の適正化のための指針」、「身体拘束その他の行動制限マニュアル」の周知について
1月	身体拘束廃止及び虐待防止研修/権利擁護に関する二つの指摘

10 給食業務について

行事として、月に1回開催される誕生会を中心に、コーヒー喫茶や、11月から月に1度お替り自由の日を設けて、食事の楽しみと共に、食事の大切さ、残食を減らす取り組みを行った。食材の価格高騰に対応し、費用を抑えつつも食事の質を保つために、献立の工夫や仕入れの見直しや、温かいものを温かく提供できるように作業の見直しなども行った。施設の畑で採れた、新鮮で安全な野菜を使用することができた。年3回実施したおやつ作りでは、季節のおやつを取り入れ、入所者と共に、おやつを作る楽しみを共有する事ができた。

月	行 事	献 立 等
4月	誕生会 コーヒー喫茶	ひつまぶし・かき揚げ・かぶの漬物・みそ汁・レアチーズケーキ・乾杯ドリンク・お茶
5月	誕生会 柏餅作り・コーヒー喫茶	御飯・かつおの刺身・春の天ぷら・天つゆ・春キャベツの和え物・乾杯ドリンク・新茶
6月	誕生会 コーヒー喫茶	ねぎとろ丼・おいしいポテトサラダ・漬物・赤だしみそ汁・カットケーキ・乾杯ドリンク・新茶
7月	誕生会かき氷喫茶	うな丼・胡瓜の漬物・すまし汁・大福・乾杯ドリンク・お茶
8月	誕生会 かき氷喫茶	エビフライ弁当(刺身小付け・炊合せ・漬物) みそ汁・ストロベリークッキー&クリームケーキ・乾杯ドリンク・お茶
9月	敬老会	【祝い弁当】うな寿司・刺身盛合わせ・茶碗蒸し・祝い高野の炊合せ・メロン・祝い菓子・すまし汁・乾杯ドリンク・お茶
	誕生会 かき氷喫茶	海老天丼・おろし和え・漬物・そば汁・生チョコケーキ・乾杯ドリンク・お茶
10月	誕生会・コーヒー喫茶 スイートポテト作り	栗ごはん・まぐろの刺身・あんかけ茶碗蒸し・あおさのみそ汁・南瓜のムースケーキ・乾杯ドリンク・お茶
11月	誕生会お替り自由 コーヒー喫茶	【弁当箱】まぐろの握り寿司・天ぷら・白和え・甘酢生姜・お吸い物・栗ケーキ・乾杯ドリンク・お茶【お替り自由】鶏むねガーリック焼き
12月	忘年会 お替り自由	仕出し料理(外注) 茶碗蒸し・豚汁・カフェオレムース・乾杯ドリンク・お茶【お替り自由】トマトカレー
	誕生会 コーヒー喫茶	手毬赤飯と手毬寿司・茄子と鶏肉の揚げ浸し・ほうれん草の胡麻和え・すまし汁・プチケーキ・乾杯ドリンク・新茶
1月	誕生会 お替り自由	海老天丼・刺身の小付け・茶碗蒸し・白菜の漬物・すまし汁・いちごのムースケーキ・乾杯ドリンク・お茶【お替り自由】鶏の2色揚げ
	元旦祝い膳 コーヒー喫茶	【弁当箱】赤飯・おせち盛合せ(伊達巻・煮豚・祝いかまぼこ・海老の佃煮・黒豆・数の子・いくら・栗きんとん・わさび漬け)・みかん
2月	誕生会 お替り自由・コーヒー喫茶	鉄火丼・とろろ芋汁・漬物・玉ねぎスライス・みたらし団子・乾杯ドリンク・新茶【お替り自由】チキンカレー
3月	誕生会・お替り自由桜もち作り・ コーヒー喫茶	【弁当箱】赤飯・刺身3種盛り(まぐろ・サーモン・鯛)・春の天ぷら・菜の花の胡麻和え・玉子豆腐のすまし汁・ストロベリーショートケーキ・乾杯ドリンク・お茶【お替り自由】フライ各種

11 地域、家族との交流について

毎年の行事である「いきいき交流会」(6月開催)では三井地区シニアクラブの方たちとゲーム等を一緒に楽しんだ。地区の役員他の皆さんを招待し準備していた納涼祭(7月開催予定)は、事情により中止とした。10月の地区祭典での交流も定着している。12月には、三井区役員と連携し地域防災訓練を行った。いずれも毎年繰り返してきている活動であり、お互いに円滑に準備し参加、交流することができた。家族との交流について、定期的な近況報告等は充分に取り組めず、状態変化等による必要時の連絡が主となる。家族との関係性、連携性を形成・維持していくには、具体的な仕組み、取り組みの定着を図っていく。

令和7年度 事業報告附属明細書 小笠老人ホーム拠点区分

該当事項なし。

